

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-46)、
廃棄物管理施設(22)、MOX燃料加工施設(2-16))」

2. 日時：令和5年3月24日(金) 10時00分～11時00分
13時30分～15時05分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、田尻主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、瀬戸川安全審査専門職、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 再処理事業部 事業部付部長(設工認・耐震)他24名

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループリーダー 他1名

東北電力株式会社 原子力部 原子力技術 副調査役

電源開発株式会社 原子力技術部 原子燃料室 上席課長

三菱重工業株式会社 原子力セグメント プラント設計部

総合配置計画課長 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html

- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年3月17日

「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁の竹川です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始いたします。
0:00:07	本日のヒアリングは、令和4年の12月、及び令和5年の2月に申請があった設工認申請について、
0:00:18	対応の進捗について確認をするものになります。
0:00:22	まず規制庁側の出席者を紹介いたします。
0:00:25	本庁側からは、コサクタカナシタジリシミズタケダ。
0:00:32	Webの方から、
0:00:34	キシノを、ガカミデフジワラハバサキオオハシaセトガワ、
0:00:41	以上が出席しております。
0:00:44	それでは、原燃の方から出席者の紹介と、各担当の役割、
0:00:50	本日の説明内容と達成目標について説明をお願いいたします。
0:00:56	はい。日本原燃事務局中浜でございます。
0:01:00	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:04	まず、事務局ですけれども、再処理側より、サトウタカハシ。
0:01:10	ナカハマ。
0:01:12	MOX側でタニグチイシハラです。
0:01:16	本日の内容、
0:01:19	含めまして、出席者紹介いたします。まず、申請書不備関係で、取りまとめで、
0:01:26	スズキ、
0:01:27	フジベ、
0:01:29	ツジモト、タガワ、あと品証部門より、ノロナイトウです。
0:01:35	あと共通準備関係でございますけれども、シミズタナカ。
0:01:40	外傷関係で、エビナ、
0:01:43	耐震関係でホシノ、
0:01:45	あと衛生関係で、ホリグチ、
0:01:47	以上参加者となります。
0:01:50	本日5日合わせさせていただきたいものといたしまして、申請書対応不備、
0:01:56	及びあと共通22の作業状況、SA関係の作業状況、
0:02:01	以上3点のご確認を。

0:02:03	させていただきたいと思っております。
0:02:07	それでは申請書本文対応に至りまして
0:02:10	ご説明を差し上げたいと思います。
0:02:16	日本原燃鈴木でございます。申請書類の方ですけども、昨日、機構、パフォーマンス改善会議の資料の方、裏させていただいてます。その資料を、
0:02:29	機能をアカマツ改善会議の方で説明をいたしております。その会議の中でですね結構大きなコメントをいただいております、
0:02:39	その対応にちょっと時間がかかるというような状況になってます。
0:02:42	藤嘉門いただいた米社内でもいただいたコメントとしては、
0:02:50	第1回設工認の振り返りですねここで受けたN R Aさんからの指摘事項。
0:02:56	あとは、その審査会合等で、当社の対策に対して、時系列をするとまだ作成できなかったという点に対して、実機で作成してそこから問題点を抽出して、
0:03:09	対策につなげないと、今挙げてる対策が本当あってる対策ならどうかかわからないというようなコメントちょっともらいまして、ちょっとそれにちょっと時間がかかるというような状況になっております。
0:03:21	その次系ループに対してもですねちょっと時間かかるというのは、登場人物ですね、経営層の主人物を羅列して、誰がどんなN Rさんからの指摘を、
0:03:34	受けて、どういう指示をしても、どこに問題があったのかというようなところをちょっと整理しなが必要だとちょっと言われてまして、
0:03:43	時間かかるというような状況になっております。
0:03:47	あとはですねその他にも要因分析等を行っている中で、分析がですね、
0:03:54	病院と事実の方が混在してるような記載が結構多いので、その辺の整理が必要ですよというようなコメントもいただいているというような状況でございます。
0:04:07	ちょっと主影響審査会後資料の方を提出予定にはなってますけども、
0:04:14	という、ちょっとそこに作っておいたものの、ちょっとその反映が出てこなかったというような状況でございます。
0:04:22	以上です。
0:04:27	規制庁コサクです。今、以上ですっていう。

0:04:31	言われてるんですけど。
0:04:35	もうあれですかね。
0:04:37	Q Aに入ったということですかね。
0:04:43	日本原燃の佐藤です。すいません。状況は今の鈴木の方から説明した通りで、社内でもですねちょっと私がしっかり
0:04:54	指導ができてなかったというところがもう露呈した形で、社内で当初私が誤っていた社内で再発防止まで確定した状況で、3月の会合でご説明すると。
0:05:06	いうところがですね今、社内での意思決定ができない病態になっているといったようなところを本当に申し訳なく思って申し訳ございません。その上で、本日、介護資料案という形で一旦ちょっと
0:05:22	これをご提出、ご提示してるんですけども、それはちょっと、
0:05:28	昨日のあのパフォーマンスレビュー会議が通った前提のものを、今ちょっと出しておまして、ちょっと会合でのご説明の仕方、範囲についてちょっとご相談させていただきたいというふうに思っておりました。以上です。
0:05:41	規制庁コサクですけど。
0:05:44	ごめんなさい。
0:05:46	資料も我々受理してないので、
0:05:49	誤解を与えるような発言しないでいただきたいんですけど。
0:05:56	相談させていただきたいって言われても、
0:05:59	相談に乗るような話はあまりなくて、
0:06:05	申請書文の対応については、3月に説明するとそちらも
0:06:11	ていう話なので、
0:06:15	3月の会合で説明できる、現状において説明すると。
0:06:20	現状を説明するということで整理を、そちらでしていただいて、資料提示をいただきたいというだけ。
0:06:28	です。
0:06:32	なので、
0:06:34	先ほどの説明も尻切れトンボだったので、そういう状況を踏まえてこういうような会合での説明の方針で、今資料作ってますとただ言ってくれればいだけだったんですけど、
0:06:47	どうなってます。

0:06:52	日本原燃鈴木でございます。ただいま現状を説明する資料ですね、もう一応作ってありますので、そちらの方を早急に、午前中にちょっと提出しております。補足です。
0:07:03	早急に出していただく必要はなくて、ちゃんと車で検討して、現状であればこういう説明になりますねと。
0:07:12	いうことをまとめて、しっかりとしたもので今日出していただければいいということ。
0:07:18	です。拙速に出されてこちらからコメントして直してなんていうのはそもそも、
0:07:25	品質保証の関係から我々が口を出す話じゃないので、
0:07:30	誤解をされるようなやり方をやめてください。
0:07:33	日本原燃鈴木でございます。わかりました。ちょっと社内で確認したものを提出したいと思います。
0:07:41	コサクですだから社内で確認したのっていうのをどういような程度のもんとして作っていくつもりなのかという方向性の今考えてることをここで説明するっていうのが今日のヒアリングの意味じゃないですかと言ってらんですけど。
0:08:00	わかりました日本原燃鈴木でございます。資料の構成の方ですけども、ですね今回は、
0:08:09	金会長、不備があって、その調査の内容とこういう形で調査をしたということと、その今野氏、
0:08:19	不備の調査の措置の状況をわかるようなものと、その調査の不備をどうい体制でどういふうにやったのかっていうことを書いて、
0:08:29	その次に、調査結果ですね、調査結果の方をわかりできてますので、そこを変えて、それ以降の調査の不備の当たって、原因分析、
0:08:40	等を、あと第1回の振り替えのところについては、まだパフォーマンス改善会議の方で、社内決定できてないので、それまでのところの状況について、資料にまとめて提示したいと思っております。
0:08:54	広さですけど、今言われたところで要因分析はオーソライズできてないから要因分析について説明できませんと。
0:09:04	言っているようにも聞こえたんですけど、
0:09:07	ヒアリングで、パフォーマンス改善会議の資料提示されているわけですから、現状こういうような整理状況で、

0:09:19	パフォーマンス改善会議でこういう指摘を受けていて、引き続き検討していますと。
0:09:25	いうことはいえるはずなんですけど、そのつもりはないってことでいいですか。
0:09:36	日本原燃都築でございます。そこについても今までヒアリング等を出してるところもありますので、ただまだ最終的に決まってないところコメントを受けてるところもあるので、
0:09:47	そこがちょっとわかるようにして、原因分析の方についても、資料にまとめて提出したいと思います。
0:09:55	古作です。
0:09:58	もし書かれない場合は、ヒアリング資料を渡してもとに置きながら、会合でお話をさせていただきます。
0:10:06	ので、そういうことを踏まえつつ、原燃としてどう説明していくかというのをよく今日、
0:10:13	社内で検討されて資料を作成いただければと思います。
0:10:21	日本原燃鈴木でございます。了解しました。
0:10:28	はい。規制庁竹田ですその他本件につきまして、確認ございますでしょうか。
0:10:33	はい。規制庁の館です。ちょっと話がよくわからなくて1点だけ確認なんですけど、パフォーマンス会議にかけて要因分析からやり直そうとしてんでしたっけ。何を今やろうとしてでしたっけ。
0:10:46	はい。日本原燃都築でございます。昨日いただいたものとしては、第1回、
0:10:57	時系列、経営層の関与のところについて低層のところについていけると作って問題点が、今の問題って抽出の問題点でいいかどうか。
0:11:11	衛藤規制庁の館です。ごめんなさい。音が飛んでるんですけど元で今話してますか。
0:11:20	日本原燃都築でございます。
0:11:23	パフォーマンス改善会議の方で、係争のところの範囲を、指示内容とか、悪さ加減のところについて時系列で、問題点を抽出してないので、
0:11:35	そこを抽出を寺家町を作って、数値として、今、要因分析等を作ってる上げてる。1回の振り替えのところの問題点が挙げた問題点が、合ってるのか

0:11:48	というのをちょっと確認をしていきたいなというふうに思ってます。コサクですすみません、よくわからなくて計装のところの問題点を抽出してないのと。
0:11:57	言いますけど、
0:11:58	時系列は、
0:12:01	そのごとに作るものではなくて、事象ごとに作るものであって、
0:12:06	何を言われてるのがわからないんですけど。
0:12:22	日本原燃鈴木でございます。事象ごとなので1回の振り替えの時に、こちらが対策を挙げたところが、
0:12:32	その点に、その点について、まず問題、それができなかったっていう事象に対して、登場人物を洗い出してその自警するのはできてなかったの、つくれてなかったの、
0:12:45	ごめんなさいってコサクです。ちょっと話が通じないですけど、
0:12:51	今言われてるのはあれですか。
0:12:56	昨日提示のあった聞こ会議の資料では、不適合2件について、事象ごとの
0:13:08	時系列を書き、問題点を抽出をして要因分析をしていると。
0:13:13	いうことであつたんですけど、今言われてるのはこれではなくて、審査会合資料案の、もう一つの要因分析をしているものについて、
0:13:26	時系列を書いてなかったと言ってるように聞こえたんですけど、その認識で合ってます。
0:13:32	日本原燃鈴木ございまして、その通りでございます。
0:13:36	コサクですそうだとすると、
0:13:38	審査会合資料は、この不適合とは別でやってるように書いてますけど、なんでパフォーマンス改善会議で議論になったんですか。
0:13:54	日本原燃鈴木でございます。そこの1階の振りかいいができなかったというところについても、私CRの中でちょっと取り上げて対応しているので、
0:14:05	そこへ、ごめんなさい、古作です。取り上げて対応してるのでっていう資料にはなってないんですけど。
0:14:12	どういう流れですか。
0:14:24	コサクですけど、備考資料そのままいいからと言っていたんですけど。

0:14:30	それはあれ実は機構資料には他の資料も出してるけど、必要最低限と思って厳選して我々に提示したってことですか。
0:14:42	あ、すみません規制庁カミデですけど、昨日出てきた資料の7ページ目が何か見られなくてあれなんで、これなんだろうなと思ったんですけど。
0:14:55	何か見られなくてあれなんであれなんだろうなと思ったんですけど、要は、規制庁神です。なので、7ページを、去年の話、第1回の話の、
0:15:07	要因分析として、いきなり付け加えてそれで会議に持っていったってことなんですか。
0:15:17	ちょっとその辺の話としては七つのところが、これを会議の方で審議していただいて、
0:15:29	あ、すみません、木曾コサクです。今カミデくんの。
0:15:34	発話がー。
0:15:35	繰り返しになってしまって原燃の発話とダブっちゃったので、僕の経験から発話お願いできますか。これ。
0:15:47	注意していく。
0:15:55	原燃聞こえますか。
0:16:00	はい、日本原燃鈴木でございます。7ページのところが第1回の振り替えのところの時系列病院の時点になって、こちらですね。
0:16:11	タカマツの方で審議見てもらってるっていうものです。
0:16:16	規制庁コサクです状況はわかりましたけど、
0:16:21	改善会議で言われたことだと思うんですが、何でこのシート入ってるのって質問があったってということですかね。
0:16:38	はい、秋月でございます。それでこれが、
0:16:43	あるんで、
0:16:55	日本原燃都築でございます。そうですねこのように結びついて時系列も欲しいよということを言われてる。
0:17:03	はい。規制庁土佐です。状況はわかりました。
0:17:07	が、
0:17:10	それも
0:17:12	トピック会議の委員の発言もいまいちだし、

0:17:17	それに対して説明された方も不適切だと思うんですけど、この要因分析図に対して時系列というのではなくて、事象の全体像をどう認識をするのかと。
0:17:30	いうところがあって、そこで一連の時系列で整理をしていく中に、
0:17:37	こういうものも登場人物として入ってくると。
0:17:40	いうことのはずその問題、全体としての問題認識が、
0:17:46	整理できてないからこんなことになっているんだろうと私は前から思っています。なので、会合資料で要因分析が二つ分かれてること自体に異論を唱えたのはそういうことです。
0:17:59	なんですけど、前から申し上げてる通り、原燃のQMSの中に、私の意見を入れるのはよくないと思いますので、
0:18:10	清しっかりと町を整理をして、開放しようとし、
0:18:16	提示いただければと。
0:18:17	ます。
0:18:23	ありがとうございます。了解しました。
0:18:28	規制庁カミデです。7ページについて少し確認ですけどこれは、今回、
0:18:36	昨日の会議に向けて作ったものなのか、去年時点でもう11月とかでの話だから、去年もすでに作っていたものの再掲なのかっていうとどちらですと、
0:18:50	日本原燃藤木でございます。こちらについては今回の所を受けて、
0:18:56	おります。
0:18:57	以上です。
0:18:59	はい。規制庁深見です。我々に対し、我々とのヒアリングでは、8ページ以降のものは見ていましたが、
0:19:09	改めて機能になって7ページ目が増えてきた理由っていうのはどういうところなんですか。
0:19:19	日本原燃鈴木でございます。
0:19:21	あと7ページのところもうちょっと、7ページ
0:19:23	ちょっと多くなってますけども、以前からですね、衛藤。
0:19:28	最初の、なんだ。
0:19:30	ここはつけた形で要因分析は入れておりました。
0:19:36	以上です。
0:19:38	はい。規制庁カミデです。

0:19:41	ということはいいですか少し組みかえつII A、達したものは、私、
0:19:48	さらに
0:19:49	一番先頭にも持ってきていると、というような処理をしているってことですか。
0:19:58	日本原燃鈴木でございます。多種要因分析をいたしております。以上です。
0:20:06	はい。規制庁深見です。一応状況はわかりました。
0:20:09	私から以上です。
0:20:16	その他本件につきまして規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:20:25	よろしいでしょうか。それでは本件について振り返りをお願いいたします。
0:20:34	はい。日本原燃鈴木でございます。新設の部分については、今の申請書の不備の状況をですね、現状について、
0:20:45	内容を社内で確認して、それをですね規制庁殿の方に計上したいと審査会合資料として出し提示したいと思います。以上です。
0:20:56	コサクですすみません
0:21:00	ヒアリング、
0:21:01	個別のヒアリングのようになっちゃって申し訳ないんですけど、
0:21:05	C RレベルBって言われてるんですけど、AとBの違いってどういうものですか。
0:21:35	日本原燃の野呂でございます。
0:21:38	AとBの違いで具体的に言うと、は法令違反とか保安規定違反に該当するようなものを、レベルAというふうに定義してございます。以上です。
0:21:50	古作です。判断基準の効いてるというよりは取り扱いの違いを聞いているんですけど、
0:21:57	一方判断基準の今まで説明あったところでいっても、本件って保安規定違反じゃないんですか。
0:22:06	設計が適切になされていない設計プロセスが適切になされていないってことだと思うんですけど。
0:22:15	というよりはチェックをやっていないっていう、大きな瑕疵だと思いますけど。
0:22:26	日本原燃ので少々お待ちください。

0:23:20	再処理ピコナイトウです。
0:23:25	よろしいでしょうか。
0:23:27	は、
0:23:29	すいません再処理機構、
0:23:32	最初にパフォーマンス改善推進者のナイトウと申します。はい。
0:23:38	このレベルの判断ですけれども、このレベルの判断は当初起きた事象、 要は、直接的な事象、その原因に対しての判断をしていますので、
0:23:52	起きた事象からは、直ちに保安規定違反とは読めなかった。
0:23:58	今のところは、その起きた事象をそこを改善する。いやヒューマンエラー、 ヒューマンエラーであれば、まずはレベルBで改善すべきだということ でレベルBにしております。
0:24:12	以上です。
0:24:18	補足です。
0:24:19	よくわかんないんですけど、
0:24:22	事象と指定せ設計が適切になされていないというのは、
0:24:28	何
0:24:33	レベルBといえるのか、ヒューマンエラーはレベルBですっていうのも 意味がわかんないんですけど、
0:24:38	ヒューマンエラーで事故を起こすことっていっぱいあると思うんですけど、
0:24:43	何でそういう判断ができるんですか。
0:24:47	最初に、担当です。
0:24:49	衛藤。当社のレベル判断の判定基準というのがありまして、まずそこは 原因の確かさ、それともう一つが、原子力安全への影響という形になります。
0:25:03	原因の確かさについてはもう明らかにやることはやってないっていうので、 ある部分、
0:25:10	確かだということはわかります。もう一つ、原因の、原子力安全への影 響の度合いですけれども、今そのレベル判断は、
0:25:20	直接工場の運営に対して、起きたトラブルが原子力安全への影響が、
0:25:27	あるかなしや、あるとしたらば、高いのか、中なのか低いのか低いのかと いう判断をします。

0:25:34	そして今回の件については、今、運営してる再処理工場に影響は直接には与えないけれども、しかしこういうトラブル起き起こしてると。
0:25:47	少なからず今後原子力安全への影響が及ぼすあたりかねないんじゃないかということで原子力安全の影響低いというふうな判断しております。
0:25:57	そして原因の確かさと、原子力安全の影響が低い、そこのコスト比を読み取り表があるんですけども、そのやりとりを読み取り表でいくと、
0:26:08	レベルBという区分になります。そしてレベルBの中で、今回はヒューマンエラーですので、是正措置の中ではそのヒューマンエラーに関する改善を行う。
0:26:19	要は是正処置は、そちらの改善を行うということで判断しております。
0:26:23	以上です。古作です。ちょっと前半部分には納得いかない部分がありますけど、とりあえずヒューマンエラーだからBということではなくて、
0:26:36	安全上の影響度ということでBになり、BであろうとAであろうと、ヒューマンエラーが絡むものはヒューマンエラーの対策を講じると。
0:26:47	言われたってことでいいですか。
0:26:51	はい。その通りです。
0:26:54	はい。コサクです。本件許認可の図書D、設計不備を犯していると。
0:27:01	いう。
0:27:02	こと等にもかかわらず影響が低いと言われている理由は、おそらく実態の評価は適切にやってるけど申請書に書いてないだけだと。
0:27:12	いうふうに案ところに考えられてると。
0:27:16	いうことだと思いますがそういうことですよね。
0:27:24	和気さんここで考えてるわけではないんですけども、
0:27:28	直接今運営してるものに対して直接影響は直ちに与えない、ただ将来的にこういう考えを持てると、影響を与えるであろうということで、
0:27:38	レベルを判断しております。直ちには与えないって何でいえるのかってこの何か説明できるんだったら言ってもらいます。
0:27:46	も、まだ今現在、運営している。
0:27:51	要は関連してわかりました。そうすると設計プロセスは全部Bになるってことですね。
0:27:56	了解です。
0:27:57	会合で話をさせていただきます。

0:28:06	おそらくそれでAとB D対応の仕方としての違いについて説明いただけますか。
0:28:21	最終パフォーマンス改善推進者ナイトウです。
0:28:24	レベルA、B、基本的には対応は一緒です。ただ、承認者がAレベルAの場合は事業部長になります。
0:28:35	そこの承認者のレベルBの場合は、各施設の部長の承認、そしてレベルAは、事業部長が承認、要は承認レベルが変わってきます。やることは同じように、
0:28:48	レベルAでも、なぜなぜ分析をやって、原因を見つける、そういう作法は変わりません。以上です。
0:28:56	コサクですちょっとうろ覚えであれなんですけど、Bでも根本原因分析はやるんですか。
0:29:07	根本原因分析は、
0:29:11	本件、明確な保安規定第何条違反っていう、
0:29:15	ものですか、あと、規制、規制側からの指示文書を受領した、その場合には、まずは根本原因分析をやるかやらないかのスクリーニングを行います。基本的にはそういうものはやるとなります。
0:29:29	で、例えば今回のレベルBであっても、このレベルBの何、原因分析が終わって、この原因の背景に組織的な要因が、
0:29:39	潜在してるんじゃないかとなると、その観点で、
0:29:45	是正措置、要は原因が確定した段階で、R C Aの要否をもう一度審議することになります。再処理事業部では、日本原燃では、
0:29:57	根本原因分析要則というのがありまして、その要則の中では、まずは起きた事象の直接原因分析を行って、その原因が出た結果で、組織要因が潜在してる。
0:30:10	というふうに考えられる場合には改めてスクリーニングを行い、事業部長が判断するというふうになっております。
0:30:17	ですから、この
0:30:19	この件に関しては、直ちに保安規定違反というふうには読めなかったのですが、まずは今原因分析をやってる最中で原因が確定しておりません。
0:30:29	先ほど内野スズキが一述べたように、
0:30:33	まず、昨日、コメントをつけたのは、ピンクの私なんですけれども、

0:30:38	要は、この事実がまずはすべて出揃ってないと、その最たるものは登場人物として、まず体制表に載ってるものがすべて関わってるはずがそこが載っていないと。
0:30:52	例えば、規制コメントを受けて、要は経営層はどういう判断をしてどういうコメントをして下ろしたのかと。
0:31:00	それを折田コメントを受けて事務局は各施設課に何を伝えたのかと。
0:31:06	その施設課は、文書なり何なりに、どういう形で反映したのか。
0:31:11	それを反映されたものを、誰がどういうタイミングで確認しているのかと、確認した結果を当社の経営層はどういうふうを受けて判断してるのか。
0:31:21	その中には、工程の延期ですとか、そういうものを含めてどういう判断をしたのかという、一連の関係者すべての事実が読み取れない。だからそこを、
0:31:34	事実を入れて、もう一度、どこに問題があったのか、そこを正しい資料で提出して審議をし直そう、そういう形を昨日伝えたものです。
0:31:44	その結果で、例えば、組織として、この原因は問題がある。そうなった場合に、R C Aの要否をそこで改めてスクリーニングすることになります。
0:31:57	以上です。
0:31:59	はい、古作です。わかりました。まずR C Aについては、
0:32:06	A Bにかかわらず、原因を踏まえて組織要因があれば、やっていくということで要領に従って、要否を判断する。この後する。
0:32:18	いうことで理解をしました。で、
0:32:22	今回、
0:32:24	ノー会議での情報提示では足りないと言ってた点も、我々がヒアリングで疑問に思ってたところと一緒に、
0:32:37	よく見ていただければいいかなと思うんですけど、
0:32:42	若干個別的なところになっていますけど、
0:32:47	第1回位申請を踏まえて、当然ご存知だと思いますけど、原燃の設工認部隊っていうのは、体育館に集まって作業していると、そこには経営層もいると。
0:32:59	一緒に行って、状況を把握し、

0:33:04	オンタイムで指示を指示なり、対応していきますというふうに言われていたと。
0:33:12	ということなので、そういった取り組みが見えてないというのは
0:33:18	分析に根本的に問題が生じているのではないかなというふうに感じています。
0:33:26	会議で指摘されたことを踏まえて、分析されてる現場サイドはそういうのも入れてくるんだと思いますけど、よく議論していただければと思います。そうしたときに、
0:33:38	機構としてはいつぐらいに情報提示があって議論するもんだと思っておられるんでしょう。
0:33:50	再処理機構の内藤です。本来であれば昨日審議したんですけども、昨日その辺の事実が確認できるかと思ったんですけども、
0:34:00	ちょっとそこが足らなかったんで、
0:34:03	次は、
0:34:07	すみませんスケジュールについては、申し訳ございませんスズキの方に、
0:34:12	聞いていただきたいと思います。小坂です。わかりましたあれですね、金庫が任せると、当然書いてはいないけど当然現場では整理をしてあって、言ってくれるもんだと思ってそんなに。
0:34:25	時間がかかるということではなく聞いたつもりだったのに何か、
0:34:30	変なことになってるぞっていうことですね。わかりました。
0:34:35	じゃあ、今若干触れたところもあるんで、鈴木さん何か作業方針とかあれば、
0:34:42	聞かせてもらってもいいですか。
0:34:45	日本原燃鈴木でございます。作業方針としましては、まず実験例つつうを作っていて、東条事務長として、
0:34:57	ごめんなさい内容は先ほどから聞いているのでよくて、
0:35:02	スケジュール感ということなので、
0:35:04	決定しています。
0:35:07	わかりました。そうですね。
0:35:09	まず1週間ぐらいを目途に、たたき台を作って、そこから社内的に、
0:35:18	議論を進めていきたいなと思っております。
0:35:21	以上です。

0:35:22	コサクですとりあえず担当者の、
0:35:25	意識はわかりました。いいかどうかはまた、
0:35:29	社内で議論していただければと思います。
0:35:38	規制庁竹田ですその他規制庁側からコメントございますでしょうか。
0:35:44	よろしいでしょうか。それでは日本原燃の方から次の議題の説明をお願いします。
0:35:58	はい。日本原燃清水です。
0:36:00	共通 12 関係で今の対応状況をちょっと、作業状況の方ご説明させていただきたいと思います。
0:36:10	トーセ、以前から出し、提出させていただいた資金の対応スケジュールにおきまして、本日、
0:36:19	に前回 22 日のヒアリングを反映した、共通 12 の飛来物防護板のものと、コメントリストのところ、あと、とそ
0:36:29	飛来物防護板の以外の設備の方、精査してちょっと出すというスケジュールをご提示してございました。まず、ちょっと今の状況としましてはまず飛来物防護板、
0:36:41	20 日のコメントの取り込みの方をちょっと注力してございまして、
0:36:45	飛来物防護板以外の資料提出につきましては、ちょっと今時期を見直したいというふうに考えてございました。あと、どのぐらい作業かかるか、ちょっと再度スケジュールの方をお示ししたいと思ってます。
0:37:02	介護資料に関わる飛来物防護板の方でございますが、
0:37:08	介護資料の方は全体と一緒に、本日出したいと思ってます。コメントリストもあわせて出したいと思って、
0:37:14	共通 12 の本体の方の講座の方でございますけれども、
0:37:18	二重に設けます。2 の方にリーダーのコメントの中で、
0:37:25	例えば、何か飛来物が動いた 2 の扉状になっているところ、扱いの考え方であったり、
0:37:33	鉄筋コンクリート造の飛来物防護板の既設のコンクリートの横野板野板厚というかコンクリートの扱いであったりっていうところ。
0:37:43	もうちょっと設計のところをもう少し確認しなければいけないところというところにつきましては、本日提出する資料には、今間に合わ今の整理状況で間に合っていない状況でございます。

0:37:56	そういったところにつきましては、コメントリストの中で、対応状況をお示しして、できてないところを合わせて本日共通12の方を提出させていただきたいというふうに、
0:38:08	考えております。
0:38:11	というのがまずスケジュールの話でございます。もう1点、
0:38:16	ちょっと画面よろしいですか。はい。
0:38:20	昨日のヒアリングの中で、
0:38:24	共通中に本部の中で、
0:38:26	上流からどう整理するのかというのが前回の資料の中で、しっかり取り組めてなかったということで、すいません、12ページの方を開いてもらえますか。
0:38:41	それじゃ画面共有で、大変申し訳ありませんけども、規制庁の整理状況です。すいませんこれは、今日提出予定の資料が今、先に移されてると思えばいいんですけど。
0:38:56	はい。日本原燃シミズその通りでございます。
0:39:01	はい。ちょっと古作ですけど、提出されてからヒアリングすればいいような気がしますけど。
0:39:07	今日この段階でやりたいことって何ですか。
0:39:12	いえ、徒歩、いや本来やりたかったのはそういうスケジュールのところでございます。一応前回のヒアリングの中で、
0:39:21	作業状況をちょっと朝のヒアリングでご説明するというちょっと私説明したのでちょっと今説明しようとしたんですが、はい。いえ、資料提出した後でご説明させていただきたいと思います。
0:39:32	規制庁の田尻です。なぜ、作業状況としてはもう形で行けて今日出せそうですってということだと思んですけど、何か相談事項とか考え
0:39:41	たら認識合わせて確認しておきたいところがあるって話ではないと思っていいですかね今のは。
0:39:49	はい。日本原燃清水です。はい。その理解のご理解の通りでございます。規制庁谷です。ちなみに、これはいつ出てくんですけど今日の。
0:40:01	はい。日本原燃清水です。行事目標で今、ちょっと作業を進めているところでございます。
0:40:08	成長終わった時です。
0:40:10	まだできてない部分があるからって話でき、

0:40:15	はい。日本原燃清水ですはい今、
0:40:20	以前の整理日資料でご説明した別紙2のブラッシュアップ図面概要図のブラッシュアップ後、
0:40:27	別紙4の前回、いろいろご指摘いただいた部分のブラッシュアップをちょっとまだ作業中のところがございまして、はい。
0:40:35	伝えてよかったかと思ってます、規制庁あたりです一年生の作業。
0:40:39	は会合資料も同じって話ですかね。
0:40:44	はい。日本原燃シミズ会合資料の本文の部分は先に出させていただきたいと思うんですけども別途の部分は同じでございます。
0:40:53	規制庁丹治です。別添とかって書いてあった通知するって言ったところが相変わらず築地で一度資料が出されるってイメージですかね。
0:41:02	はい。日本原燃清水です。はい。その通りでございます。
0:41:05	規制庁丹治です。その開放資料の本体はいつ出てくるかっていうと、
0:41:17	はい、二本木西原でございます。先ほどの不備の件をおいて他のもののパーツは、午前中のうちいたします。
0:41:25	はい。規制庁丹治です。なので、
0:41:28	じゃあさっき不備のところっていつ出すかって言いましたっけごめんなさい。なんか、
0:41:32	これだけ踏み込んで言ってますけど。
0:41:35	はい。日本原燃志田でございます。社内でこの朝日終わった後、議論をさせていただいてどういう形で、ファクトヒアリングもすでにやらせていただいていますし、
0:41:47	現時点で我々の分析であったり、要員であったりというところも含めて、加えて現状を説明するという意味でその社内の議論を踏まえて、いう形ですかね。には、
0:42:00	出させていただく方向で考えたいと思ってました。
0:42:04	はい、規制庁たですなんて段階を追って資料が出て、
0:42:08	ちなみに、ごめんなさい、古作です。資料提示わあ、まとめてしっかりと出していただければいいです。何か最近、
0:42:19	変な発言をする方が多いので、
0:42:23	ちゃんと襟元を正したいと思います。
0:42:26	なので今、迂って言いましたけど通知では資料セットにならないので、
0:42:32	ちゃんと一式の状態になるように提示をいただきたいと思います。

0:42:37	で、
0:42:41	そうすると一作業中でっていうようなところわあ、会合資料には反映できないということ。
0:42:49	だと思imasuので、
0:42:53	そこはどういう形でピンクにするのかわかりませんが、
0:43:01	まず、資料出てきてからそういう状況でまとめたのでというところを確認させてもらえればと思います。
0:43:18	なんかあれですよええ。
0:43:21	会合資料では、飛来物防護版。
0:43:26	に限定はするので、飛来物防護版に限定しつつ、さらに、
0:43:33	公正、
0:43:35	のものに限定するっていうこと。
0:43:39	でしたかね。
0:43:43	はい、日本原燃清水です。はい。その通りでございます。
0:43:46	はい。そうすると、
0:43:49	ペンディングのものってのは何があるんです。
0:43:56	はい。日本原燃志水です。先ほど1例挙げた
0:44:03	ワンの防護板についている扉構造の防護板の扱いであったり、
0:44:11	ですねはい。
0:44:13	はい。コサクですわかりました。
0:44:20	等そこは介護資料で何か触れるつもりですがどうするつもりですか。
0:44:28	本体は健全市民、
0:44:31	日本原電シミズ。
0:44:33	会合資料の本文の中では、ふーれることは考えてなかったんですがちょっと別添の中でどう示すかをもう少し考えたいと思います。
0:44:44	朝田ですわかりました。
0:44:52	古作です。で、スケジュールの方に戻りますけど、
0:44:57	ちょっとないような話が入っちゃったので、
0:45:01	思い出せなくなっちゃったんですけど。
0:45:07	飛来物防護版の方を優先して材料してて他の今手が回ってませんと。
0:45:14	いうことで、リスケーを考えてますということだったんですけど。
0:45:19	そのあと言われた5番での検討事項って個別の内容であって全体に展開する云々の話じゃない。

0:45:28	ことなんですけど。
0:45:29	なんでリスクになってるんですか。
0:45:37	はい、日本円でシミズです。まずはですね飛来物防護板、
0:45:44	対応しているメンバーと、ネットだったりそれ以外の冷却塔だったりっていうと対応してるメンバーがかぶってまして、
0:45:54	作業の方をちょっとはい。並行にできてなかったというところがございます。
0:46:01	古作です。理解できませんけど、
0:46:07	何で分担しないのかなと、前から分担できますよねっただできますと言っていたような気がするんですけど、
0:46:16	作業が遅れるのは、
0:46:19	原燃がおくらせるのは、我々が止めるわけでもいいんじゃないんで、
0:46:24	わかりました。
0:46:41	本件につきまして規制庁側から確認はございますでしょうか。
0:46:48	はい。
0:46:50	後よろしいでしょうか。
0:46:52	それでは共通中に関係で振り返りをお願いします。
0:47:01	はい、日本原燃清水です。
0:47:05	共通中に関係介護資料をついで出すというところにつきましてはっきり、資料をそろえた上で、できていないところ、コメントとして取り込めてないところ、
0:47:18	のその示し方別添の示し方っていうのをちょっと考えて資料の方、本日出ししたいというふうに考えてございます。それ以外の、
0:47:28	防護板以外のスケジュールについてはちょっと今、社内で検討した上で、別途ご提示させていただきたいと思います。
0:47:36	以上です。
0:47:38	ありがとうございます。今の説明につきましてコメントあればお願いいたします。
0:47:44	古作です。スケジュール表っていうのは、見直したやつってのはいつ出すつもりなんですか。
0:47:59	日本エリアでございます。はい。スケジュールも速やかに反映をして月曜日の朝には少なくとも出せるように、
0:48:09	させていただきたいと思いますはい。

0:48:13	はい。
0:48:14	そうです。月曜日の朝って言われるのわあ、otherのヒアリングに間に合わせるっていうことっていいですか。
0:48:24	はい、日本イシハラでございます。はい今、押田の話をしたのは、まさしくそういう目的を持って話しました。朝のミーティングで、何らか、週末も含めた状況を反映して、
0:48:35	ご説明できるようにしないといかんかなと思ってました。はい。
0:48:39	はい、古作です。よろしくお願いします。一方で、最後に言おうかなと思ったんですけど、
0:48:47	先ほどの話とかも含め、
0:48:51	ヒアリングを重ねてもですね、こちらの意図を無視して、
0:48:56	対応を変えずにそのままやっていたりとか、発言が変わらなかつたりと、
0:49:02	というようなことが散見されてるのでヒアリングを重ねる意味がないかなと思ってまして、
0:49:11	東証、
0:49:13	1月、会合の後、
0:49:19	うん。
0:49:21	金山。
0:49:22	はい。
0:49:23	衛藤委員。
0:49:25	コミュニケーションを図ろうということでやって、2月の会合のときに、
0:49:31	続けるかどうかという話をして、まだ十分
0:49:39	浸透している感じでもないのもう少しやりましょうということになって、ひと月続けたと。
0:49:47	ということですけど。
0:49:48	改善するところが解約になってるような感じがあるので、じゃあ、
0:49:56	運用を変えましょうかというのも思ってるんですけど。
0:50:01	どうでしょうかって今、
0:50:04	答えを出すのも辛いかと思うので、週明け、月曜の朝か或いは会合の後のラップアップか、少し見解を聞かせてもらえればと思います。

0:50:20	はい。日本原燃志田でございます。はい。おっしゃっていただいたのは良い経緯で、
0:50:27	朝の時間を取っていただいて、このヒアリングをやってきておりますがおっしゃっていただいたように、
0:50:32	各担当者が責任を持って自分の作業状況であったり、今後の進め方だったりっていうのをやりとりができるようにというつもりでございましたが、
0:50:44	意味返さずな感じも多々ありますので、
0:50:48	来週の月曜日、もしくは審査会合等の中のどこでその話を取るかも含めて、
0:50:54	来週の時点で
0:50:57	答えを出してお話をさせていただければと思います。
0:51:01	はい、古作です。よろしくお願いします。
0:51:11	はい。規制庁の竹田ですその他よろしいでしょうか。
0:51:16	それでは原燃の方から次の議題の説明をお願いいたします。
0:51:23	はい。日本原燃の堀口です。重大事故関係のスケジュールについて変更というか昨日までのこととこれからのことについて説明いたします。
0:51:33	十時 17 の提出が遅れておりまして申し訳ありません今日、ちょっと今何時ってのはまだ言えないんですけども、今日、午後に提出できるように今頑張ってるところで、
0:51:44	十時 17 のヒアリングを、27 日の午前中に置かせていただきましてそこでどんなふうにつく、前回から直して、
0:51:56	作っているかというところの説明をさせていただきたいと考えております。
0:52:00	そして、
0:52:02	藤 8 号の取り込みについてなんですけれども、
0:52:05	もしその 27 日月曜日の午前中の十時 17 の後にもしお時間がありましたら、8 号の取り込みについて、放出抑制と水供給という選考をして、
0:52:17	進めておりましたこの 2 乗分に関して合わせて 27 日の月曜日の午前中に説明をさせていただきたいと考えてます。もし、時間がない場合に関しては、
0:52:28	先行の、この放出抑制と水供給後は、先行条文以外って書いてある a、b が T B P 電源計装等のところを、29 日の午前中の

0:52:41	ヒアリングの中ヒアリング午前中に設定させていただきましたここで、
0:52:46	説明をさせていただきたいと考えてます。ここでもし終わらなかった場合には 30 日の午後にもちょっとお時間をいただきまして説明をさせていただきたいと考えております。
0:52:56	呼びます。
0:52:58	はい。説明のところでも
0:53:00	20、もし 27 日午前中に 8 号取り組みができない場合でも 29 日は、最初に放出抑制と水を説明させていただいてそのあと後続の、
0:53:11	部分の説明をしたいと考えています。
0:53:16	はい。説明は以上です。規制庁コサクですけど、昨日のヒアリング作業品質が非常にだー良くないと。
0:53:26	ということで、ちゃんと DB の対応をしてる方とか、全体見てる方とコミュニケーションをとって、作業内容をしっかりと整理をして対応いただきたいと。
0:53:38	ということをお話をしていてですね。
0:53:42	昨日やった項目もう、
0:53:46	条文ごと何か話があるというわけでもあんまりなくて、
0:53:51	ほぼ同様ですってということだったんですけど。
0:53:54	その週明けに、
0:53:57	順次やっていくっていう必要はありますか。
0:54:01	はい。日本原燃の堀口です 8 号の取り組みでまだ 1 度も保坂さんおっしゃった通り一度横並びを図って、DB との部分だとかそういったところの話。
0:54:12	が、今回提出する分に関しては反映できないまま 8 号の取り込みの要素としてどういったところに取り込んでいくかっていうところを一度説明させていただきたかったために、
0:54:23	1 度前常務をまな板の上に上げて、ちょっと説明したいという趣旨でしたので来てない部分に関しては、
0:54:32	今日以降で
0:54:35	できるように、DB との話等、
0:54:39	成城分館でも情報共有しながら講座にアベあとイシハラさんにもちょっと話をしながら今後こういうふうにするべきじゃないかという相談しながら決めて、直していきたいと考えてます。

0:54:48	以上です。
0:54:51	はい。コサクです。
0:54:53	形式的にヒアリングをやる必要はないので、
0:54:57	別途各条文担当こちらにもいますので、状況を確認してですねヒアリングすべきものというのを、
0:55:07	明確にして、日程調整を、
0:55:09	進めていければというふうに思います。
0:55:14	日本原燃の方に技術はわかりました。
0:55:26	その方が規制庁側から確認はございますでしょうか。
0:55:39	振り返りは特に大丈夫です。はい、わかりました。はい。それでは
0:55:45	あと、
0:55:46	浅香井手説明が説明する内容としましては、以上だと思いますが、何か原燃ございますでしょうか。
0:56:00	はい、宮城内田でございます。
0:56:02	2番で、すべてでございます。はい。
0:56:05	はい。規制庁竹田です。はい、わかりました。藤社長がこれも何かございますでしょうか。
0:56:11	よろしいでしょうか。
0:56:13	それでは本日の朝会としましては、これにて終了とさせていただきます。お疲れ様でした。
0:56:21	ありがとうございました。
0:00:02	を開始しましたと。
0:00:04	成長シミズです。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングは、令和4年12月26日に申請があった設工認申請について資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:19	技規制庁側の出席者を紹介いたしますと本庁会議室からコサクタジリオオオカシミズ、その他WE Bからオオハシフジワラタカナシセットガワ。
0:00:33	以上になります。
0:00:34	まず日本原燃の方から出席者の紹介とそれぞれの役割について説明の上本日のヒアリングでの説明項目について説明をお願いします。
0:00:47	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:00:50	日本原燃側の出席者紹介いたします。

0:00:54	まず事務局より、
0:00:56	イシハライワタニナカハマ
0:01:02	外相取りまとめで、日がいす医薬品取りまとめでシノザキ。
0:01:07	溢水薬品関係の説明者といたしまして、シミズ、
0:01:12	カシワムラ、ヤマモト、
0:01:15	アカマツ、
0:01:17	ホリウチアベ。
0:01:19	あと清担当でホリグチタマウチ。
0:01:23	関西電力様より、笹川様。
0:01:27	三菱重工業様より、桜井様、塚本様。
0:01:32	以上参加者となります。
0:01:34	それで溢水、医薬品関係のですね、コメント対応、コメントに対する対応方針について説明を開始させていただきます。
0:01:46	はい。日本原燃の篠崎でございます。
0:01:49	まず提出させていただいた資料の説明に入る前に、本来重大事故側で十時 17 というところで、
0:01:59	溢水側に正常分としての設計要求被水などという撤去費を果たすかといったところをお示しした上で、それを受けて、溢水側でどうかという議論をさせていただく予定でしたけれども、
0:02:12	やはりちょっと
0:02:15	瀬川の、ちょっと他の遅れてございますけれども、ほんじゃちょっとまず口頭でですね、伊勢側で溢水に対する設計をどういうふう引き渡すかといったところを、
0:02:25	嘘報告させていただきまして、それを受けて実勢側でどのように対応するかというところを、
0:02:32	ちょっと口頭で説明させていただきたいと思っております。
0:02:35	その内容につきましては、来週の中旬、29日にですね、中身について整理して提出させていただきたいと思っております。その説明から説明させていただきます。
0:02:51	はい。日本原燃タマウチです。重大事故側からですね、溢水としてです。溢水としてですね、DBに渡すものについて説明を簡単にさせていただきます。

0:03:03	まず溢水の影響を考慮する対象ですけれどもこれは重大事故等対処設備をすべて選定しますと、
0:03:12	いう情報をお渡しします。
0:03:15	次にですね、1 水源。
0:03:17	あと、水量の設定については、従来 B で想定しております想定破損ですとか消火水の放水ですとか、
0:03:27	その他の溢水に加えまして、
0:03:29	内的事象の植生流体を含む配管の全周破断、これはどういう、どう風間漏えい破断モードで、何がこうやってどこで何か漏れたってな情報を、
0:03:40	渡すということになります。
0:03:43	あとですね、
0:03:45	基準地震動 S_s の 1.2 倍の地震力で、
0:03:49	ステンレス耐震性が確認されない溢水がですね。
0:03:53	これを考慮するということになります。
0:03:57	これ以外にも地震力が 1.2 倍ですので、燃料貯蔵プールピットのスロッシングによる溢水、
0:04:04	考慮
0:04:05	について追加になるということと、あと貯水槽のですね、スロッシングについて追加になるということになります。
0:04:14	続いて溢水防護区画及び溢水経路、すいませんありますけれども、補足です。はい。
0:04:22	ちょっと
0:04:23	非常にいろいろとあってよくわからないので、
0:04:26	段階を追って聞きたいんですけど。
0:04:30	ただ、どれだけ違う。
0:04:36	と、
0:04:37	防護対象設備等、
0:04:40	1 制限なりの想定っていうところを、
0:04:45	完全に切り分けて話されてたんですけど、
0:04:48	物によって変わってくるはずだと思ってたんですけどそのあたりはどうなってるんですか。
0:05:06	日本原燃のタマウチです。

0:05:09	ものによって変わるというところでいきますと、想定する地震動が1.2倍になるので、
0:05:16	それを受けて、
0:05:19	対象が変わるといふところかとは思っておりました。
0:05:24	古作です。だから、それをどういう仕分けをして引き継ぐんですかという、宇野が何も説明なかったんですけど。
0:05:46	日本原燃石田でございます。
0:05:49	現状申しますと、非常にそこが弱くてですね私も1017、
0:05:55	見せられたらさっきなんです。
0:05:58	全然イメージができてなくて、要はS E側D B側でどういう設定をしてどういう条件を出してどういう評価をしてっていう流れに対して、
0:06:10	F Aとして、どう、何を決めなきゃいけない、どういう橋渡しをすればD B側で受け取れるんだみたいなことをですね、
0:06:18	まだちゃんと具体のイメージを持って考えられてないっていうのが現状です。
0:06:24	なぜそれをD Bにぶん投げていいんだっていうところを聞いてもですね、それはD B側でやるからと言われていやそれ中で受け取っても何もできないじゃないかと。
0:06:34	正としてちゃんと条件設定しないとわからないよね、設計は説明しないと駄目だよねってところが、
0:06:40	年齢まだあの地域で、全然、前々回というか、もう1ヶ月近く同じことやってるんで、いい加減にしろよって話にもなると思うんですけど。
0:06:49	そんな状況になってますので今まともに多分回答ができないんじゃないかなというのが状況です。
0:06:55	古作です。です。だとする等、今このヒアリングやらないほうがいいよな気がします。で、
0:07:05	アドバイスじゃないですけど、
0:07:07	前から言ってるよう2一世を実際にやって評価してる人と、
0:07:13	S Aの設計してる人がひざを詰めあって、話をして必要な事項っていうのをお互い認識をすると。
0:07:22	いうことだと思ふんですね。それをまだやってないっていうことだと理解をしましたのでしっかりやって整理をしてください。
0:07:31	そのやり方も言う立場にも本来ないんですけど、

0:07:37	溢水の評価プロセスっていうのがあって、
0:07:40	それぞれこう設定していきますっていうのは、整理されているわけで、
0:07:46	それをそのS Aの人がちゃんと理解をするっていうのがまずスタートなんだろうなと思います。
0:07:52	それをですね、評価項目が一
0:07:58	結局、ドイツでしょって思うところはいっぱいあるんですけど、まず一つ一つそのフローを載せて、どうやるのかというのを整理をし、その
0:08:10	並べてみるとこことここは一緒だから一体でできますねってここは違う必要がありますねと。
0:08:16	いうのを
0:08:19	整理して一つ一つ考えた後にやって、改めて全体整理をするとされたらいいんじゃないかなというふうに思います。そうしないとそのS Aの人が、
0:08:30	何を言わなきゃいけないのかどう整理をしなければいけないのかわからないような気がするので、
0:08:37	あくまで参考ですけど、
0:08:40	我々の質問に答えられるようにしっかりと検討を進めてください。
0:08:46	す、その視点としては先ほど田畑さん言われたように、
0:08:52	想定破損なり何なりっていう、DBでも考えてることをS Aでも考えますと、
0:08:58	いうことに加えて、1.2S sというのがあります。その前週す。
0:09:05	破損というのがありますと、
0:09:07	いうことでそれを一通り、どう考えていくのかと。
0:09:13	どう考えていくのかっていう時に、1 水源はどこを想定するのか、想定しなくていいといったものに対してどうするのかと。
0:09:22	いうことをまとめてください。
0:09:26	どうぞ。
0:09:29	ここまではいいですかね。
0:09:36	はい。日本原燃のタマウチです。
0:09:38	はいここまで大丈夫です一応、
0:09:41	S A側とDB側ですね、担当者で膝を突き合わせて話はしていたんですが、ご指摘の通りちょっと、

0:09:48	タマウチまで入った議論までできてなかったと思いますので、それを踏まえて、すみません、再整理させていただきます。以上です。
0:09:56	はい、古作です。で、最終的に我々に話をしていただくときには、例示でもいいですけど配置図見せて、DBだとこの範囲をこういう
0:10:11	防護対象この範囲それに対して、溢水経路行為形、溢水研がここで、
0:10:21	ここについては除外するのでこうしますと。
0:10:24	いうことの話がパッと見えて、そそれに対応してSAはこうですと。
0:10:30	なっていてここは一緒です、ここは違いますと。
0:10:34	いうことを端的にはお話しいただけるように、
0:10:39	していただけるんだろうと思ってます。
0:10:45	先ほど説明の中で、スロッシングっていう話が出てきたんですけど、
0:10:50	1水源として、
0:10:53	溢水のものを特定するようにスロッシング
0:10:57	を評価をし、溢水として、この量をこの1、考えます。どういうふうの流れていきますと、
0:11:07	いうことの説明をされるのは理解するんですけど、貯水槽の椅子、スロッシングと言われたのは、
0:11:18	若干、
0:11:19	経路が違って、1水源ではなくて、構造設計の話をされているような気がするんですけど、どういう趣旨でした。
0:11:32	日本原燃の玉置です。貯水槽の、
0:11:35	溢水はですね、貯水槽から水が漏れることによって、周りにある設備に悪影響を与えないかという観点と、あとおっしゃる、ごめんなさいです。
0:11:47	浅岡先生はそう思い込んでましたけど貯水槽っていうことは、水SA水源てこと。
0:11:57	はい。日本原燃タマウチです。はいSAの水源の貯水槽になります。以上です。
0:12:07	コサクですわかりました
0:12:12	SAの貯水槽については、確かに、
0:12:17	評価はするんでしょうけど、
0:12:20	それはあれですか、DBの設備は周りがないので、対象にはなりませんっていうことを言いたいってことですか。

0:12:30	はい。日本原燃のタマウチです。はいDBの設備は貯水槽の周りにないので、DBの設計では出てこなくて、SAの設備の方でSAの評価の方で、
0:12:41	整理をするものと考えています。以上です。コサクです。で、実態はそうなのかなとも思いつつ、
0:12:49	Dの方の水源脳抽出の際2、
0:12:54	そういうスクリーニングかけるようになってましたっけっていうようになってなかったような気がするので、
0:13:00	結局はスロッシングは一通りやった上で影響するものはありませんというふうにしていくんじゃないかって気もするんですけど。
0:13:12	これDBのSEの篠崎さんとかにお話いただいた方がいいかなと思いますすがいかがですか。
0:13:22	はい日本原燃篠崎です。おっしゃる通り、土肥水源として考えるときには、
0:13:28	あまり貯水槽のスロッシングをデータベースで分ける必要はないかなと思ってます。
0:13:34	ただSAこれ、私の方ですけど追加でスロッシングの評価をしなけ貯水槽のスロッシング評価をしなければいけないのは、今言った
0:13:44	他の評価と同じように、出てきた水に対して、周りのものがやれるやれないっていうのを合わせてですね。
0:13:51	ちょっとずれていきたい。
0:13:53	いいやで、水槽スロッシングなくていいっていうのは、水源としては別に特定しなくて、防護対象の関係で、
0:14:03	スロッシングが影響あるかないかっていうのをどんどんスクリーニングで、
0:14:08	やっていくのか、どういうどういうやり方をしてますかっていう。
0:14:13	古作です。
0:14:16	今、石原さんが言われてましたけど、水源をと抽出するいうときに、
0:14:23	施設内の水、
0:14:27	があるところっていうのを一式上げて溢水するかしないかと。
0:14:33	ということでまずピックアップをし、その後、その下流2、安全機器があるかどうかと。
0:14:40	ということで、

0:14:43	整理をしていくものなのか。
0:14:45	防護対象設備がここに 있습니다。そこに流れ込む恐れのある水源ってどこがありますかねと。
0:14:54	ということで抽出し、その水源が1水源となりうるかの評価をして、絞り込んでいくというプロセスなのかどっちですかということ。
0:15:07	はい日本原燃篠崎です。まず定義の世界では、溢水防護対象設備が内包する建屋を、
0:15:17	溢水防護建屋として選定しまして、そこで評価を行います。今言った貯水槽ってのは、保管庫と一緒になってるジョセイチョウでございます、
0:15:30	スロッシングにより影響を受けるものが、その可搬型S Aが置いてある。
0:15:35	以西設備を、
0:15:37	対処策です。ごめんなさい。はい。端的に全社が後者かということ言っただけですか。何となく、全社ですって言うような気がしましたけど。
0:15:51	えんじ会え高坂は、最初機構さん、ごめんなさい、今多分塩崎は後者の坪井でしゃべったと思うんですけど、じゃあそうすると、どうどうはどうなんだって。
0:16:02	話になってくるので、何かいいところ取りをしてる感じになっちゃう気がしてまして。もうちょっとちゃんと考え方を整理せなあかんかなと思ってます。です。石田さんごめんなさい。古作です。
0:16:16	おっしゃる通りですけど、後者であっても、建屋で切っちゃわずに、
0:16:22	この建屋に流入するものも考えますとって、溢水元を特定しに行けば、
0:16:30	そのロジックでも一応抽出はできます。
0:16:35	なので、考えなきゃいけないところは今、いろいろ頭、実体上では出てき出しているはずなので、
0:16:42	それをどういうロジックで特定しているのかということ整理をしていただければ、どちらでも成り立つものだと思いますので整理をしてください。
0:16:56	はい。日本原燃篠崎町しました。

0:17:05	規制庁の丹治です。それ1点だけなんですけど、先ほどの流れで行った時に、もともと10時って、来週の月曜ぐらいにはってイメージだったと思うんですけどそこはスケジュール通りですか。
0:17:28	はい。日本原燃タマウチです。先ほど医師は石原からあったようにですねちょっと内容がまだ詰め切れておらず、チップの内容になっているんですけども、
0:17:40	ちょっと設計条件の整理としてですね、どうなってるかっていうところは、一度ちょっと見ていただいて、ご指摘ですとかしていただく必要があると思うので、予定通りやらせていただければと考えております。資料も、
0:17:54	できるだけ早く出すということで、すいません。今、そう考えております以上です。
0:18:00	規制庁の奥谷です。ちょっと原燃内での進捗はわからないんですけど、一応原燃としてしっかり精査したものを出し出すことができるので、それに当然指摘は出てくるものだと思うけれど、前例としてセットしたものが、
0:18:12	27日に出せるので、それでやりたいんですってことでいいですかね。
0:18:23	はい。日本原燃タマウチです。今日ですね、24日に出させていただいてそれをもって、27やるということでお願いします。はい。以上です。はい。規制庁丹治です。なんで今指摘受けてる段階だけど今日中には何とか出せそうですってことで状況わかりました。
0:18:42	規制庁、清水です。松江先生の条件の引き渡しについてはちょっと整理をしていただいて、お話ができればと思います。ここまでで規制庁側からか、確認ございますでしょうか。
0:19:00	原燃が追加で、今、話しておきたいこととか、
0:19:05	この衛生関係でありますでしょうか。
0:19:16	はい。日本原燃のタマウチです。冒頭コサクさんからご指摘あったようにちょっとまだケースAからB引き当たった内容の、
0:19:25	考え方ですとか条件について整理がありつつ十分ですので、今追加でちょっとお話をするとまたご迷惑をおかけすると思うので現状はいいよということでお願いします。
0:19:37	以上です。
0:19:38	規制庁清水です。わかりました。

0:19:42	それ、それでは水のう。
0:19:47	資料に関して確認進めたいと思いますが、あと原燃側から、
0:19:51	まずは、
0:19:54	17日に提出のあったコメントリストと別紙関係で、
0:19:59	年側から説明をお願いします。
0:20:04	はい。日本原燃塩崎です。令和5年3月17日等、3月15日に出させて いただいた資料があるんですが、3月17日に提出していただいた資料の 方から説明させていただきたいと思います。
0:20:17	リストの方は、更新を図って参りました。詳細説明するものは、別紙を つけてございますので、
0:20:26	別紙8、通しページ10ページから順に説明させていただきます。
0:20:35	日本原燃の赤松です。
0:20:37	通しページ10ページコメント鍵山22について説明いたします。
0:20:44	ここでは
0:20:46	入っている自体はその通りなんですけれども、先日のヒアリングで、1.1 倍蒸気影響評価については、していないということに対して、保守性、
0:20:57	んでを書きますっていう話を設置させていただいたんですけれども、
0:21:01	改めて安全率という観点で、整理し直し西田返している結果を、
0:21:07	今回ここに記載させていただきました。この別紙については以上です。
0:21:13	はい。規制庁清水です。
0:21:17	ちょっと確認したいと思います。ちょっとこの1.1倍の話は、次のペー ジのコメント24の内容にもちょっと絡むんですけども、
0:21:28	まず、
0:21:29	蒸気影響であ、系統保有水量1.1倍を下のところ吸いやすいみたい にしてないっていうところについては、
0:21:37	どう、
0:21:38	まずその状況においても、公表しないとイケない不確かさっていうの は、ナンバー24に書かれてる没水とかと同様、まずは製作誤差っていう と、これを考えた上で安全率を、
0:21:51	入れてるっていう。
0:21:53	ことなのでしょうか。
0:21:59	日本原燃の赤松です。
0:22:02	蒸気影響評価の方は、24番にある、

0:22:07	衛生政策課長補佐、対策誤差ではなくてですね。
0:22:12	衛藤 5 水は、この書き方で見てみますと、一方で上記の方は、
0:22:18	防護対象設備側の滞留、
0:22:22	にある暴露試験の結果に対して安全率を見ておまして、
0:22:26	それぞれ、20 観点は違うんですけども、安全率としては同等の安全率を設定しているという、
0:22:34	ものでございます。
0:22:36	以上です。
0:22:39	成長シミズです。ちょっとすいませんまず確認で。
0:22:44	藤。
0:22:45	まず最初に
0:22:48	何ですかね、溢水量として、まずは系統保守保有水量っていうところろ う、
0:22:54	それ必要にはなると思うんですけども、
0:22:57	じゃないと思います。そういうその系統は、水量を持ってくるにあたって、蒸気影響の方は特にその製作誤差っていうその誤差は特段考えなくていい。
0:23:11	ていう、そういう説明になるんでしょうか今のは、
0:23:19	はい。日本原燃の赤松です。はい、ご認識の通りです。
0:23:23	没水愛情研究評価の方は繰り返しになりますけども、
0:23:28	防護対象設備側で、
0:23:30	規制庁の館です。とわー没水の方は背製作公差によって、量の方は磯谷の出す方の方で 1.1 倍見てて、
0:23:44	上記の方は受ける側でっていう話なんですけど、
0:23:47	いや、どっちとも不確かさがあるんだったらどっちでもで見りゃいい話なんですけど、今のお話だと片方を見てるんで片方がいいんですけどっていうの繰り返しになってしまってるので、今のお話っていうのは、
0:23:58	出す方に関しては誤差がない中は強いですかね。それとも、
0:24:04	別の話。
0:24:16	日本原燃篠崎です。今、佐治さんご指摘いただいたようにちょっと今、やりとりがうまくいってないと思うんす
0:24:25	確かに今、1.1 倍、上記だと 1.1 倍の安全率他でやってるから大丈夫ですよって我々言ってる回答ではなくて、そもそも、

0:24:35	安全率として、長期で何を見てます。何を見るべきですかという趣旨のご質問ってことでよろしいですね。古作です。ちょっと言バー。
0:24:46	遊びになってるような気がするので、まず安全率って言葉を使って欲しくないんです。
0:24:52	うん。
0:24:53	それぞれ2 評価パラメーター、条件というのがあって、その条件の不確かさ。
0:25:02	がどのそれぞれにどういうの程度あるのかと。
0:25:05	いうことを明確にしてください。
0:25:07	その上で表評価値とし、評価をする値として、どこを設定するのか。
0:25:14	そうすると、
0:25:17	厳しい側に必ず設定してるわけでもないと思うので、その部分をどう評価で反映していくのかという不確かさ評価でもいいんですけど、言い方はいろいろありますが、
0:25:31	その部分をどう考慮して最終的に保守的な評価になっているのかと。
0:25:37	いうのを整理をしていただきたいと、ということです。その結果として、どちら側にどうまとめていくのかと。
0:25:45	ということなので、必ずしも同じようにやれということではなくて、
0:25:50	議論に抜け漏れのないようにちゃんと整理をすることとだけ思っていればいいのかと思います。
0:25:58	はい。日本原燃篠崎です。承知しました。
0:26:02	議論に抜け漏れがないって意味で今おっしゃられたように、まずパラメータの不確かたパラメータが何で、その不確かさが何かっていうところの整理から、
0:26:10	しないとこれ説明しきれないと思いますので、それじゃこちらにつきましては、今の観点で整理して再説明させてください。
0:26:19	古作です。その点ですすね 22 番と 24 番で、別で対応すると混乱すると思うので、一色、それ全部そういうのを並べて、結局こういう考えで、
0:26:33	やってますと、というようなこと等がわかるようにしていただいた方がいいかなと思います。
0:26:45	はい。日本原燃塩崎です。承知いたしました。
0:26:51	規制庁志水です。ちょっと整理の方をお願いします。一応

0:26:57	保守性とかの話のときも、舞妓さんからヒアリングではそもそも不確かさとして何があるのかというところから整理した上で説明をっていうこと、お伝えしてるので整理の方をお願いします。
0:27:10	あと、
0:27:12	ナンバー22等、ナンバー24のコメントについて規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:27:22	特によろしければ、続いて12ページのNo.29について確認したいと思いますが、こちら原燃側から説明ありますでしょうか。
0:27:38	はい。日本原燃篠崎でございます。
0:27:41	コメント管理ナンバー29番に対しましては、記載について特に補足すべき事項ございませんので、内容の議論に入っていただければと思います。
0:27:52	はい。規制庁清水です。
0:27:54	あと、こちらがあんまり29については、僕ら内容どうこうっていうよりはもともと申請症状で、その原理の再処理施設において設計上考慮しないといけない。
0:28:06	自然現象人為事象の方が抜けてたのでそこをちゃんと整理するようになっていうことコメントだったんですけども、
0:28:14	今回その13ページに表でまとめていただいています。
0:28:18	それにこれをそのまま申請書に書く。
0:28:21	つもりではないと思うんですけども、
0:28:24	ちょっとその記載をもう少し説明の仕方は整理をしておいて欲しいと思ってます特に
0:28:32	今ここで書いてるのはまず
0:28:36	設計や所を考慮しないといけない自然現象人為事象っていうのが許可の時から抽出されてると思うので、
0:28:44	まずそれを整理があってその中で考慮しないといけないとなっている自然現象と、その人事象それぞれに対して、
0:28:53	一斉に両輪となり得るのかとかイスイとしての設計の検討を、
0:29:00	各、今そういう、
0:29:02	申請書上は今そういう整理で説明が入ってると思うんですけども、
0:29:07	今回
0:29:08	例えば、電磁的障害のところとかは、

0:29:13	電磁的障害により溢水が発生することはないため設計上考慮しているってちょっとよくわからない説明になってるので、
0:29:22	まずはその電磁的障害は再処理施設として考慮すべき事象となってますねその上で、それは溢水として
0:29:30	障害により溢水が発生しない、三名とかそういう説明、検討の内容を説明するっていう、
0:29:37	仕方になると思うので、ちょっと全体的にそこは整理をしておいてください。
0:29:43	じゃちょっと、
0:29:45	伝わりましたでしょうか。
0:29:48	はい。日本原燃清水です。はい、拝承です。了解いたしました。
0:29:54	はい。
0:29:55	うん。
0:29:56	ちなみになんですけども、
0:29:59	許可の時に抽出されてる事象っていうのがそれぞれここに
0:30:06	考慮しないといけないってなってるものはここにすべて
0:30:09	列挙されてるのは確認できたんですけども、
0:30:13	その許可時に苦しましなくても良いってなってる。
0:30:18	事象とかもあってっす。そのうちでも、この一部船舶の衝突とかダム の崩壊とかは書いてあるけど他のやつは書いてなかったりする。そういうのってどういう整理。
0:30:31	今ここに何か並べたものって、
0:30:35	何を本当に、
0:30:36	入れたんでしょうか。
0:30:50	はい。日本原燃の清水です。ここに出させていただいた人員事象なんですけども、発電炉との比較をしてそこの差異について、抽出するという観点で記載させていただいております。以上です。
0:31:06	規制庁清水です。
0:31:09	再処理施設においてその考慮しなくていい事象、だけどその発電炉においては考慮している事象っていうものがあればそこを表に入れてる。今この資料で説明を入れてるってこと。
0:31:21	古作です。

0:31:25	全般に通じていえることですが、実用炉でやっているものに対してやらなくていい理由っていうことを説明すれば、網羅的に説明ができてるってなぜ思えるのでしょうか。
0:31:40	はい。日本原燃塩崎でございますちょっと今、説明がよくなかったと思います。先ほど清水さんにも者もおっしゃられたように、
0:31:48	まだ許可時にですね再処理施設として考えるべき、自然災害とか人為事象ってのは上げた上で、こういったものを考慮しなきゃいけないかっていうのをやってございます。
0:31:58	そっから今抜け漏れがないという確認をしたとともに、今回その別紙4で、その原燃と再処理としての記載の程度の過不足がないかといったのは、
0:32:08	浪費参考に、その辺をチェックしましょうというふうになってますので、今回参照させていただいたところに、の上げてるものにつきましても、
0:32:18	一応我々と過不足がないかという観点で、比較を追加したという趣旨でございまして、決して後ろと比較してマルバツというだけで、全体を注視してるわけではございません。
0:32:32	はい、古作です。
0:32:34	わかりました。言葉には気をつけていただければと。
0:32:41	規制庁吉見です。どうしてもちょっとここについて最終的に申請書にも反映することだと思うのでぜひちょっと、
0:32:50	整理はしておいていただければと思います。
0:32:54	コサクです。その上でちょっとよくわからないので、
0:32:59	多分、この後検討のところも、もうちょっとちゃんと書いていただくってことだと思うんですけど。
0:33:05	一つ例示として、航空機落下のところ2、
0:33:09	地震時における屋外タンクの溢水に包絡されるためってなってますけど、
0:33:16	これは地震時のタンクの溢水っていうのをどう設定しているかによって、崩落するのかがどうかが変わってくると思うんですね。
0:33:27	で、
0:33:28	その点、
0:33:29	ではどうなってるんでしたっけ。

0:33:35	はい。日本原燃篠田家でございます。おっしゃる通り比較するそれが情報として不足してました。
0:33:41	地震時の評価としましては、屋外のタンクがですね、すべて壊れて溢水するといったような、
0:33:52	前提を置いてございますので、
0:33:55	はい航空機落下で一部のタンクが例えば破損したとしましても、地震で全量壊れるといった評価の内数には入るという趣旨でございました。
0:34:05	はい、古作です。今の妥当量の議論しかしてないような気がするんですけど、これもずっとヒアリングで話されてますが、
0:34:13	溢水のスピードっていうんですかね、瞬間値みたいなのところの議論が抜けてるんじゃないかなと思ってます。
0:34:21	地震時にどういう破損を想定するかというときに、配管全周破断ぐらいじゃないかなと思うんですよ。
0:34:32	タンクがいきなり全壊して、一気に溢れ出すというようなことまで想定してないような気がしてですね。
0:34:40	そうすると、航空機落下の場合は、地震と比べて、1機しか壊れませんでしたとしても、その1機は一気に壊れて、
0:34:51	水が1、ダツと流れるとしたときに、その周囲の水は非常に高くなると。
0:34:58	ということだと思うんです。実態上その周囲に安全機能を有する機器はないということだと思うんですけども、そういった点では
0:35:09	そういうところも含めて言わないと、崩落したっていうことにならないと思うのでその点丁寧に説明いただければと思います。
0:35:21	はい。日本原燃篠崎です。趣旨は理解しました。この後ご説明差し上げる。
0:35:29	コメント管理ナンバー37の局所評価とかそういったところにも繋がる話だと思いますので、全体、
0:35:39	整合とれた説明ができるような整理をして参ります。
0:35:45	成長シミズです。
0:35:47	これ、この件に関して規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:35:53	はい、どうぞよろしければ続いてナンバー3と14ページのナンバー35について、原燃側から説明をお願いします。

0:36:21	はい、日本原燃の堀池でございます。コメント管理ナンバー35番についてですがどうか勾配による考慮の保守性の考え方と、
0:36:29	ということで前回前々回からのヒアリングで
0:36:34	平均的な話になっていて現実的な、としている設定というものに対する、全体に対全体的な保守性を示すものになっていないということで回答を作成させていただきました。
0:36:46	回答としましてはこれまでですねこれまでというか許可時からを申し上げておりました。
0:36:53	床勾配最大高さの2分の1相当の体積について嵩上げをすると。
0:36:58	ということでの説明をさせていただいておりましたが、最後再度というか再処理の方における床勾配の設定というものを再度確認した結果ですね
0:37:09	今申し上げておりました修正による奥底の方式というものと、ファンネルによる方式というものがございまして、前者の側溝の方式の場合につきましては、図1に示しております通り、
0:37:22	これまで申し上げておりました、2分の1の床面積あそこ、
0:37:27	すいません床勾配の高さが、
0:37:30	実際にたまる部分だということでこの部分については現実的な設定であると。
0:37:37	ということが説明できていたかと思えます。
0:37:41	一方ですねパネル周知方式というものがございましてこちら図2の方に示してございます通り、
0:37:47	1点に集中させてそこからは排水すると、いうものなんですけれども、こういった場合には、こういった集水方式になっておりますと、その隣、図2の、
0:37:58	右側に示してございます通り、
0:38:01	水がたまる範囲がですね
0:38:05	床勾配がある範囲のに対して四角錐状になるということで、噛めれる水の量は、その1個入りませんコサクです。
0:38:16	書いてあることを説明する必要はないということは、ヒアリングで毎回言ってるんですけど、
0:38:22	そもそもこれ何やってるかが全然わからなくてですね。
0:38:29	この床形状というのと、水のたまり具合っていうので、何かグチャグチャになってるんですけどその考え方を説明してもらえますか。

0:38:40	はい。日本原燃堀内です。
0:38:42	すいません。まず、田丸水野様とですね今申し上げておりました保守性を主として μ 勾配の考慮というところに関しましては、
0:38:53	実際にですね有価購買部分に水がたまり、たまり水の量の分を、あらかじめ溢水量に対して、嵩上げをするという考えのもとに設定をさせていただいております。
0:39:05	衛藤さんからですね。
0:39:07	はい今の説明だけで全然わかりません。
0:39:11	規制庁の田尻です。11年いうと、基準の床高さまずどこかって言ったら、速攻って書いてるとかわかんないんですけど、要は傾斜がついてるところの低いところを基準の床高さにするっていう意味でいうと、
0:39:25	いや、傾斜ついてる部分のところには水溜められないので、その分、上に水がたまることになるだろうっていうのがあるから、こういう話をしているとまずいでしたっけ。
0:39:37	日本原燃堀内です。今土師さんがおっしゃっていただいた通りです。市長他にそういった意味でいうと、
0:39:44	能登管を示してたと思うんですけど、基準の床高さをどこにしてるのか。
0:39:49	没水高さとか、その高さをどこのことの高さを今後評価とかに言うのかっていうところを多分示してもらわないと、何の話してるかに多分これ結びつかないですよ。炉とかつけてますよね多分。
0:40:02	この傾斜の話のところ、そういう図面、
0:40:07	違うかな。
0:40:17	あ、はい。日本原燃塩崎です。
0:40:23	床勾配の影響でどんだけ溜まった水をかき上げしなきゃいけないというところだけにスコープを当ててしまって、全体を説明できる資料になってないというふうに認識しましたので、
0:40:34	今おっしゃられたように、そもそも、没水の水位が20画面に対してどういう設定をしていってどういう評価をすると、そこに対してこういうか購買の
0:40:44	影響があるので、そこは、こういう考えで保守的な値を設定させると、いうことも全体像も踏まえて、答え整理さしてください再説明させていただきます。

0:40:57	規制庁谷です。なんで、今後の整理をまずしていただきたいんですけど、次回でもう1回どうせ言わなきゃいけないんで一応確認なんですけど、この傾斜とか、さっきまでは不確かさの話も他のところで当然したと思うんですけど、
0:41:11	これ完璧な2分の1になるかって言われるとそうそう見えないような気もするんですけど、何か担保できそうなんでしたっけ。
0:41:23	日本原燃の堀内でございます。
0:41:26	2分の1、菅江藤きっちり一致するかという観点でいきますと、当間当然施工とかもございましてあれなんですけども、設計上ですねまずは基本的には直線上に稜線をとるところとあとは、修正になりますので水が変わらないような形状になると。
0:41:44	ということで2分の1を下回ることはないということ、説明しようと考えてございましたあとこちらの点につきましてもですね今申し上げました資料の修正の中で盛り込まさせていただきたいと思います。
0:41:55	規制庁の田尻です。
0:41:58	何かそれは斜めにはしてるんだろと思うんですけど今ほど担保できるのかっていうのを言うのはなかなか厳しい気もするんですけど、よろしく願いますというのと、
0:42:08	極端な話床形状ロッカーとかもこのイメージなのかもしれないんですけど、これは両サイドになってると原燃の廊下必ず真ん中部分で止まってるんですけどそんなことはねえだろうって思うじゃないですか。仲谷するじゃないですか普通、ある程度、
0:42:21	ってなったら多分違ったりもする気がするんですけど、どこまで入れるのかっていうのも含めて整理いただければと思います。
0:42:33	日本原燃堀内でございます。了解しました。
0:42:41	長シミズです。ちょっと本件まず設計としてどう使ってるのかっていうところからちょっと説明は整理して説明するっていうことだったので、
0:42:52	改めて聞きたいとは思ってるんですけど、
0:42:56	その
0:42:57	辺の設計として確認したくて、
0:42:59	まず、ちょっとサトウ、
0:43:02	企画、

0:43:02	実用炉の方を、00 資料で見たら実用炉の方では区画の床勾配による、その床面の高さのばらつきを考慮して溢水評価に用いる水位に一律、
0:43:15	なんか、最大の 2 倍となるミリメートルの裕度を確保する設計としてるってことが説明されてて、
0:43:23	なのでついにそのばらつきを考慮して一律、2 倍の値を入れて、
0:43:29	評価にしをしてるっていう。
0:43:32	ことを実用炉の方はやってるのかなと思っててですね、近年の方の、今その申請書上に説明されてる内容を見ると、
0:43:40	最大床勾配高さの 2 分の 1 分嵩上げします。その建屋設計では原則として最大、
0:43:48	何とか
0:43:49	マスキングですけど、ある値としているため、その 2 分の 1 の値何とか分を、
0:43:56	かさ上げしますで正しいやっぱ購買高さが、値を超える建屋については、その建屋の水の歳出に置いて、
0:44:06	建屋の最大床勾配の 2 分の 1 の高さを設定しますって説明できて、
0:44:12	下、現在の
0:44:14	水の、
0:44:16	設定においては、
0:44:19	この火災っていうのを、
0:44:23	いつの段階でこう入れてるのがわからない。ちょっと先ほどその体積は溢水量にかさ上げしてますよっていう口頭での説明もあったと思うんですけど、
0:44:31	溢水量の 3、水位の算出にあたっては基本的にその量を面積で割るでそのあとに原燃においては最大の 2 分の 1 分、そこにプラス、
0:44:42	2 メートルしてるっていう、そういう使い方をしてるんでしょうか。
0:44:51	はい。日本原燃篠崎です。おっしゃられる通り、ついに藤佐瀬江藤。
0:44:58	水位を算出した後に、この床勾配の考慮ということで、
0:45:04	はい。
0:45:06	それは言えないですけども
0:45:08	これから勾配考慮した推移をプラスしているということでございます。
0:45:13	規制庁清水です。その場合なんですけども、床勾配がある区画内区画関係なく、その丸建屋の中で、

0:45:25	設定する区画すべてに、嵩上げしてるんですがそれとも
0:45:32	あの勾配がある区画だけを、その嵩上げの当たり出てる。
0:45:36	でしょうか。
0:45:39	はい。日本原燃篠崎でございます。
0:45:43	文章にもただし書きございますけれども、
0:45:47	その勾配を設けていないことをちゃんと説明できる場合には、この床勾配の考慮は不要というふうにしてございます。
0:45:58	実際の現場の設計に合わせた
0:46:02	いわゆる不確かさの配慮として入れるべきところに入れているということでございます。
0:46:09	規制庁清水です。ちょっと今までの説明を踏まえると、基本的には区画ごと2、
0:46:17	溢水量面積で割って出す時にその区画に、
0:46:22	勾配がある場合は、その建屋の斉田勾配2分の1をかき上げしてる。
0:46:29	で、勾配がないような区画はそのまんまの面積で割った値を使ってる。
0:46:35	そもそもその溢水量で1点、
0:46:38	%とかの保守性とか入れてるとかいろいろありますけども、
0:46:45	その話はちょっと置いておいて、
0:46:47	とりあえず今の説明まではちょっと
0:46:51	理解合ってますでしょうか。
0:46:55	はい。日本原燃篠崎です。今おっしゃられた通りでございます。
0:47:00	規制庁吉見です。
0:47:02	によって嵩上げするしないは、
0:47:06	合わせて、
0:47:08	伝えてるっていうことで、
0:47:11	それは残ったんですけども、
0:47:13	今回、今申請書上は最大の2分の1、かき上げしますっていう説明がされてるんですけど今回の資料を見ると、ファンネル集中方式の場合には3分の2分嵩上げすることとするって書いてあるので、
0:47:27	2分の1だけじゃなくて3分の2分のかき上げっていうのも今後なんですか、その設計としてそういうのもすることに、
0:47:35	なったというか、
0:47:37	やってるんでしょうか。

0:47:40	はい。日本原燃篠崎でございます。はいこの前のご指摘を受けまして、現場の設計として床勾配どうやってるのかといったところから確認しまして、
0:47:51	先ほど言いましたファンネル集中方式ですと、
0:47:55	側溝方式で考えていたような、2分の1っていうのが、必ずしもその最大の考慮として足すべき数字としては、
0:48:03	不足してると、いうことを確認いたしましたので、ファンネル集中方式の加工場になっているところにつきましては、
0:48:11	最大、
0:48:14	射場勾配高さに対する3分の2をかさ上げするといった方針に変えさせていただきたいと思ってるところでした。
0:48:23	以上です。
0:48:25	はい、清町シミズです。
0:48:28	各科ごとによって、
0:48:30	そのどういう床勾配があるかによってそのかさ上げ分もう、
0:48:35	入れる値が変わるっていうことであれば、そこはちゃんと、
0:48:40	この資料の中でわかるように、この区画は、
0:48:44	床勾配があるので、この辺り入れてますとかそういうのはわかるように、ちゃんと説明は準備。
0:48:52	していただきたいと思うので、それが、その前にちょっと上流からの説明をまず聞いてからなので、ちょっと、
0:49:00	もしそういう方針になった場合はっていうことでのお話までです。
0:49:04	ちなみに元の
0:49:08	2分の1とか3分の2の前に
0:49:11	とびあ設計では原則として、こういう
0:49:14	値としてるからその2分の1とかを持ってくると思うんですけども、
0:49:21	細粒化勾配とな、建屋外で最大の床勾配じゃないところは確かに少し余裕はあると思うんですけどもその最大の床勾配のところでは、結局は、
0:49:32	ぎりぎりの値を使うってことになると思う。
0:49:36	出て、
0:49:38	その実用炉とかだとは、では、
0:49:43	もうその揺らぎとか何とかとかの、
0:49:47	確かさを考慮して、

0:49:49	最大よりも、ある程度の余裕を持ってっていう設定をされて、
0:49:54	現在においては
0:49:57	そういう、
0:49:58	他とフォローはどこかで考慮してるんでしょうか。
0:50:05	はい。日本原燃篠崎でございます。揺らぎの話はまた、この床勾配の配慮の補正というところは別で、
0:50:13	どうも発電炉も、再処理施設も揺らぎの考慮ということで、機能喪失高さね。
0:50:21	機能喪失高さに、その揺らぎの分を考慮して低く設定するという保守性を持たせているというやり方をしてございます。
0:50:31	規制庁趣味です。
0:50:33	当間別の機能喪失高さのところ揺らぎを入れてるってことであれば、
0:50:38	じゃあその今実用炉で、その最大よりも大きい辺りを裕度として入れる。
0:50:45	その理由っていうか、なぜそこで、
0:50:48	保守性を入れてるのかとかって、そのパラメーターとしてどういう。
0:50:55	お話とか、
0:50:56	あと2点の話なんですけど、
0:50:58	パラメータの不確かさがあるから、最大のちょっと上をとってるとか。
0:51:02	ウエトより2倍とってるかとかってその辺ご存知でしょうか。
0:51:15	はい。日本原燃篠崎です。すいません。そこも整理させてください。
0:51:22	はい。規制庁、清水です。
0:51:26	ここはまず、
0:51:28	上流から整理していただいて、
0:51:32	規制庁の館です。ここも多分さっきの話に近いものがあるって、今映されてるやつDのところ、例えばここ5センチにしようと思って設計しましたって言った場合、
0:51:43	ある一定以上の検査つけたいんだから別にそこが10センチでも文句はないですね設計上で言うんだらっていう形で、傾斜ももっとでかい可能性は別になんかはないかなと思ってるんですけど。
0:51:53	そこの誤差踏まえるんだらちょっとミニっていう考え方性なんか実用のもわからなくはない気はしてるんですけど。

0:52:00	県においては、5センチ、さっき言ったDの高さっていうのはざっとこれですって言わないと今までいけなくなって、
0:52:07	面倒くさいかなっていう気もしてたんすけどさっきの2分の1っていうのは、一定の角度でずっと傾斜がついてるかっていう話で、今言ったのは、そもそも確度つけりゃいいんだから、
0:52:18	本体でも確度対関係者つけても別に駄目じゃないんじゃないかっていう議論もできちゃうんですけどそのあたりも含めて精査されてるでいいですかね。
0:52:29	はい。日本原燃篠崎です。再整理の場合に、ちゃんと説明させていただきますが、もともとこれ床面に水がたまらないように、集水が水を流すという、
0:52:40	僕ことを目的に勾配つけてございますので、何つうかね上側に一つではなくて下側NEATIIの施工をやってんじゃないかなと思います。ちゃんと整理しますが、
0:52:50	そういう意味で、最大2分の1といった説明ができるんじゃないかなと思ってございますが、整理さしてください。規制庁といいです。最大2分の1プラス、Dが思ってた可能性とかもあるんじゃないですかっていう議論ができちゃうんで、実用炉がどう整理してるかによるんですけど。
0:53:09	必要なやつだったら例えばDが二倍になっても実際やってましたって見えるんだと思うんですけど、御社の場合はそこに多分、融度とかを見てないと思うので、そこんところに誤差はありえませんよっていう話をしなきゃいけないと思うんですけど、その辺りもやってますかね。
0:53:32	はい。
0:53:33	日本原燃篠崎です。正直申しまして、そういった
0:53:37	そういった施工誤差みたいなすべてを入れてるわけではございませんので、
0:53:42	先ほど言いましたように、
0:53:44	ちょっとパラメーターとして不確かさを整理した上で、
0:53:50	どういう配慮して、どうしていくかといった説明の中に加えさせていただきたいと思います。
0:53:56	はい。規制庁田尻です最初の方に議論があったものと一緒で、結局何のパラメーターが重要になっていて、そのパラメーターっていうのはどこま

	で正確なものなのか、誤差があり得るとしたらどの程度のものなのかっていうところを、多分、
0:54:09	パーツパーツでやるというよりは、パツパツも結局全部やんなきゃいけないっちゃん話だと思うんですけど、そこも全部見越してこれぐらいやってるんでいいですよっていう説明なのか、1個1個見ていくのかわかんないんですけど。
0:54:20	その辺り説明できるようにしていただければと思います。
0:54:29	いいじゃん。市田。
0:54:32	4名でシノザキです。整理します。
0:54:41	成長シミです。
0:54:42	岡藤。
0:54:44	本件に関して規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:54:49	後よろしければ続いて16ページからでナンバー37の屋外の局所評価に関する検討についてですね、原燃側から説明をお願いします。
0:55:03	はい。日本原燃清水です。
0:55:05	別紙12コメント管理ナンバー37でございますけれども、
0:55:10	発電炉では挙手局所的な評価を実施して再処理では実施していないのは、その必要性を整理して説明することというコメントをいただいております。
0:55:20	回答としましては、真ん中ぐらいからご説明しますけれども、局所的な評価として検討と対象となるタンクですけれども、
0:55:30	5建屋に近く、また水路が多いタンクと考えてございます。
0:55:38	すいません日本原燃篠崎です。遮りましたけど資料に書いてる通りの説明でございますので、説明は割愛させていただきまして、ご議論に入らせていただければと思います。
0:55:50	追記は新しいです。一応言っときますけど、要点ピンポイントで押さえて説明は全然オッケーですかね、全部1から10まで読み上げるから駄目だっちゃん話で、
0:56:01	一応ヒアリングなんて普通は説明してもおかしくはないものなので、例えば20行あるやつを要約して自分で言いましたって言ったら全然いい説明だと思うんで、毎回このパターンやると原燃毎回、

0:56:11	いや説明ないですって言って聞いたら、いやそこ説明しようと思ったんですとか後で言うんですけど、ちゃんと今回はいいですけど、今後はその辺りは考えていただけると助かります。
0:56:24	はい。日本原燃塩崎です。はい。承知しております。今何か、そのままになりそうだと私は感じてしまったので、違いまして失礼しました。
0:56:35	はい。規制庁志水です。
0:56:38	ちょっと確認させていただきたいんですけども。
0:56:41	まず
0:56:44	資料、
0:56:46	結構、説明が読んでいくと、ちょっと行間が抜けてて、よくわからなかったところがあるんですけど先ほど資料読み上げていったところで屋外
0:56:57	タンク等、検討対象となるのは、防護建屋に近くかつ溢水量が多いタンク等となるで。
0:57:04	表をもとに、表や図をもとに検討した結果、
0:57:08	二つ、工業用水、
0:57:11	あとこの二つ絵が選定されてるんですけども、
0:57:15	なぜここで急に二つ限定されたのかっていうのその説明がちょっと。
0:57:22	説明いただけますでしょうか。
0:57:27	はい。日本原燃清水です。
0:57:31	すいません 17 ページに屋外タンク等の表を示させていただきます。
0:57:37	またですね、19 ページに、屋外タンク等々防護対象建屋の位置関係は 1 関係を示させていただきます。
0:57:47	この 19 ページの背景を見ていただきますと、溢水防護立山水色で示していただきますけれども、これらの周りにですね、ある 1 水源屋外タンク等というのはですね、
0:58:01	水量としては、かなり少ない量として、量となっております。
0:58:07	またですね
0:58:12	溢水面として考慮する、する必要があるという量が多いという観点で言いますと、図のですね左上の方の 6 番 7 番、これが先ほどおっしゃられた

0:58:25	工業用水製造施設の飲料製造施設のところのタンクになってございます。ここの量が 5500 立米以上というところで、非常に多い量伊奈量になっている。
0:58:35	且つですね、溢水防護建屋に、ある程度の距離がありますけれども、近いということで、選定してございます。このような病棟、位置関係を考慮して、この二つの施設を選定したということでございます。
0:58:50	以上です。
0:58:52	成長済みです。
0:58:55	実際量とますもん。
0:58:58	距離っていうことを両方加味して溢水量。
0:59:02	が、量が多い。1 制限が近くにあるルー
0:59:07	の近くに友達査定があるかっていうことで、
0:59:11	整理されたと思うんですけども、量だけで見ると、
0:59:15	そもそも今おっしゃってたように非常に量が多く、
0:59:19	非常に建屋に近くっていうそのちょっと、
0:59:22	値の根拠はわからないんですけど、今回その抽出されて、工業用、
0:59:28	水とかの値だと、上の 4 番のボイラーとかも多いけど、これは結局図を見ると、近くに建屋が防護対象建屋がないから、
0:59:38	客車評価の検討は対象外ですっていうそういう説明なのかもしれないんですけどそういったところを全くわからずに、
0:59:46	勝手に検討した結果この二つですっていうことだけが示されるとわからないので自体として、
0:59:53	例えばお金を省いたのかっていうのは、説明入れていただければと思います。
1:00:02	はい。日本原燃志水です。今おっしゃられたところ、最もですので反映させていただきたいと思います。以上です。
1:00:10	成長シミズです。当間それ最初、頭の方でこの
1:00:14	二つですっていうことで省いてしまう
1:00:17	その建屋の開口部とかもその付近のものしか示されていないので、
1:00:24	わからないんですけども、例えば
1:00:28	19 ページで、
1:00:30	今回ちょっとマスキングなので気をつけるんですけど、今回対象となってるところが水色の四角で、

1:00:38	書かれてると思うんですけど、
1:00:42	距離的なところで言う、今回考慮する工業用水等何とかの2種類の距離、
1:00:50	として見ると、
1:00:51	20番や、
1:00:54	その横にある水色の立山は、距離としては同じくらいの今回検討対象してるようなところって、距離感等も同じような感じだとは思いますが、
1:01:05	これは何か変え、
1:01:08	もう一つは、冷却、
1:01:11	そうですね。
1:01:13	思うんですけど、開口部がそこだから、考慮しなくていいとかそういったところもわからないので、ちょっともう少し必要な情報を入れていただければと思うんですがいかがでしょうか。
1:01:32	はい。日本原燃篠崎でございます。先ほどの、
1:01:36	コメントとあわせて、
1:01:37	なぜこの二つを検討対象として選んだのかといったプロセスの中で、他はこうで
1:01:46	局長の検討をするには、この二つがふさわしいかという説明の中です。ね、そういった情報も付加させてもらおうと思います。
1:01:55	規制庁驚見です。
1:01:57	お願いします。で、
1:01:59	どういったよ。
1:02:01	と。
1:02:02	確認なんですけど20ページで、一斉の数、下の方の溢水の主流路というのと、あと一斉流路っていうのは2種類なんか出てきてるんですけども、
1:02:15	地表面の水の流れっていうのはこの溢水流路の方に、
1:02:21	なるのかなハウスイの方での、
1:02:23	説明されていた資料を見ると、
1:02:26	なのかなと思うんですけど、このその溢水が主流露頭溢水流路ってこれそれぞれ何なんでしょうか。
1:02:36	はい。日本原燃清水です。

1:02:39	<p>すいません。20 ページこの下の図なんですけどもタンクを赤、赤で示してございますけれども、このタンクのですね、配管なんですけれども、図面図面で見ると上側の方に集中してございます。</p>
1:02:54	<p>タンクの損傷モードを考えたときにですね、タンク基礎ボルトで固定されてないということで、滑りのモードが考えられます。第1に考えられますというところで、</p>
1:03:06	<p>そうすると、配管の完全全周破断がまずは想定されるというところで、比木上野側の方ですね北側の方に、</p>
1:03:16	<p>水が流れていくであろうということで、終了というふうに書かせていただきました。</p>
1:03:22	<p>以上です。規制庁清水です。</p>
1:03:25	<p>そうすると、この溢水の収録というのはこのタンクとこの繋がる配管のこの全周破断。</p>
1:03:33	<p>あ、規制庁の田尻です。屋外タンクの破損モードって、何かどこまで細かく設定してるんでしたっけ。</p>
1:03:41	<p>そのタンクごとにどう破損するかっていうのを全部整理した上での評価してるのか。</p>
1:03:46	<p>そこはもうあのどういう構造であったとしてもこっちの方向に一様に全部漏らすとかっていうのをやってるのかで、何か1個1個聞かなきゃいけないから決まりそうなんですけど、</p>
1:03:58	<p>はい、日本原燃清水です。衛藤タンクのですね破損モードについては、先ほどの配管の完全全周破断の他ですけれども、タンク自体の座屈とか転倒というところは、</p>
1:04:10	<p>想定されます。その場合です破損箇所ですね、例えばも建屋側の方に向けて、流れたとしてもですね、</p>
1:04:21	<p>この薄い流路というようなところに流れていくと想定するということで、そうした場合には、この建屋の陰になっているというところで、</p>
1:04:31	<p>建屋の開口部には指標性を持って流れが生じないというように考えて、</p>
1:04:39	<p>書かせていただきました。以上です。規制庁谷です。なんで今の説明は主流路っていうのは一番破損しやすいのはここだと思ってるけどと言いつつ、結局流路としてはいずれの方向に漏れることも考えてちゃんと想定してますよって言うてるとまず思えばいいですか。</p>

1:04:55	はい。日本原燃清水です。おっしゃる通りでございます。はい規制庁です。その上で、建屋があるだとか、障害物とかを考慮して局所的な影響っていのを考えてるんですよってというのが今の説明ですかね。
1:05:08	はい。日本原燃清水です。おっしゃる通りでございます。以上です。市長館です。
1:05:15	主流路って言葉の意味があるんだったらやればいいんですけどあんまり意味ないときは普通に全方向をやってますよってどっかに書いてもらえばそれで済む気がするので、ご検討いただければ。
1:05:26	日本原燃清水です。拝承しました。
1:05:31	規制庁、志水です。はい、その件に関して規制庁側から確認でございますでしょうか。
1:05:43	あとは、
1:05:45	普段、
1:05:46	表現からこちらの資料についてほか、説明ありますでしょうか。
1:05:51	規制庁の田尻です。1点なんですけど、
1:05:55	安全冷却水で、
1:05:57	一応破損を想定しててよかったでしたっけ。
1:06:03	17 ページで言うと 19 とか 20 とかの人たちは、17 から 20 かの人たちなんですけど、
1:06:10	はい。日本原燃清水です。
1:06:14	コメントのナンバーで 28 にもございますけれどもそこでも整理させていただきたいと考えてございますけれども、結論から言いますと、安全冷却水系冷却塔も破損する。
1:06:28	想定で考えてございます。
1:06:32	ちょっといいです。
1:06:34	最初の方に質問をした空気とかの絡みも少しあったので耐震とか荷物とかそういう話だけ持ってこられるとこれ想定してないと後でどうするかなど思ったんですけど想定はされてるっちゃうことですそれは、
1:06:45	想定破損かなんかでしてるんですかねまずは。
1:06:50	はい。日本原燃清水です。えっとですね、屋外の安重の冷却塔なんですけれども、
1:06:58	1.2 の評価。
1:07:02	そして評価ができてないというところでそ、

1:07:06	は、
1:07:08	S Aとし、S Aの評価として破損を想定するというような整理で考えて ございます。
1:07:13	規制庁田尻です。その場合D Bとしての想定はしてないっていう説明で すかね。
1:07:23	あ、
1:07:25	つまり少々お待ちください。
1:07:44	日本原燃篠崎です。すいませんちょっと訂正させてください。現段階で 1.2 とかって話をするとややこしくなりますんで、
1:07:52	これは藤S Eの話もあります。
1:07:55	そこは一瀬なしでお願いします。
1:07:58	コメントリストの28-1にございます通り、
1:08:02	もともとその1 に対しての考え方については、全量戻すとかですね、ち ゃんと考え方を持って、
1:08:13	説明しなさいというふうに言われて指摘いただいておりますので、そこ で説明させていただきたいと思います。当P Tも、
1:08:23	施設あまり関係なくですね、安全計画という性格等は統一意見として、 勝神野、地震起因の溢水として統計しているということになってござい ます。整理します。
1:08:34	はい。規制庁の田尻です。ちょっと聞き取りづらかったところあるんです けどD BとしてもS Aとしてもって話だったと思うんですけど、内部の ものを割合やられるんですけど、特に屋外物と加圧講師なんか距離があ るからっていうので省略されたりする可能性があるかなと思って聞いて るところもあるので、
1:08:51	1 水源として何を想定してるのか、そいつの破損としてはどういったも のを想定し、破損とかどういうふうに水がこぼれる想定をしてるのかと かっていうところを整理して説明いただければと思うんですけど。
1:09:03	これ、4 月の中旬、解析評価等ってなってるんですけど、それまでは説 明しない感じになるんですかね。
1:09:14	はい。日本原燃篠崎でございます。最終的には、2-2 の議論に向けてで すね、
1:09:22	添付書類或いは補足説明資料なり反映4 月準備ができますが、ここちょ っと考え方の方針の説明になりますので、

1:09:32	それに先駆けて、このコメントに対する対応方針の扱いの中で、対応としては確定させていただきたいと思います。
1:09:39	はい。規制庁鳥居です。なんでナンバー29みたいに、最終的な資料反映4月中旬だけどその前に別所ってやつが今後追加されるものと認識しましたよろしくをお願いします。
1:09:53	はい。日本原燃志水了解しました。
1:09:56	規制庁コサクです。今の28の一井妥当なんかスクリーニングをかけるような書きぶりをしていて、28を見ると、
1:10:06	いやそんなことせずに全量ですって言ってい。
1:10:10	すべてですと言っていてっていうのが、こう並んでるのは何なんですか。
1:10:20	日本原燃篠崎でございます。ちょっとこのリストがよくないのかもしれませんが、28で、1度
1:10:29	記載内容でご説明差し上げたことに対しまして、さらにコメントいただきましてそれを28-1に書いているということでございます。それはちょっとこの28のところは、福井新聞のところがございました。失礼しました。
1:10:43	規制庁の田尻です。あの、趣旨は、28番のところで、地下ピットとかのやつでそれを全量漏らすって言って、どういう想定っていうので、ちゃんと精査してんのっていうのを踏まえて、
1:10:54	説明することにしてただけど、その中で、個別個別の水源について今1個1個整理してて、そこでさっき口頭で言った、基本的には漏らす方向に今なってきた。
1:11:07	ていうことですかねちょっと若干推察が途中から入ったんですけど。
1:11:15	古作です。あ、ごめんなさい同じことではあるんですけど、
1:11:21	28の一井コメントを受けて何か方針を変えようとしてるのか、変えないんだけど説明性として実態上はこうなんですけど、
1:11:32	評価をこういうふうにしますっていう保守性。
1:11:35	でっていうことで補強しようとしてるのかっていうので、この趣旨を説明いただければ、
1:11:42	はい。日本原燃篠崎です。後者でございます。
1:11:46	今の設定の考え方を説明差し上げようと思ってました。

1:11:53	古作です。方針を変えるつもりはなくて、説明を拡充しようとしたということなのか、方針を変えるというつもりなのか。
1:12:03	ごめんなさい。私、前者後者がどっちだか分かんなくなったんで、
1:12:08	失礼しました方針を変えないという、
1:12:13	それで問題ないというか妥当だといった説明を差し上げようと思ってます。今で言いますと前者です。
1:12:20	古作です。わかりました。
1:12:27	延長シミズですとか、こちらの資料に関して規制庁側から確認ございませんでしょうか。
1:12:36	藤とこちらの資料、全体的に、
1:12:41	再整理っていう形になってるので、原燃側から振り返り、お願いします。
1:12:57	はい、日本原燃篠崎でございます。
1:13:01	このコメントに対する対応方針の前に前の話もございましたので、今後、繰り返させていただきますけれども、まずB-1担当とSE担当がですね、全然連携して、
1:13:15	引き継ぎができていない。どう評価するのかといったのをしっかりした上で、SAとしてそこにどういうものをしていくかといったところ。
1:13:28	しっかりピットがあるところがございますので、その辺提示いたして、すいません、対応の方をしっかりとさせていただきます。
1:13:36	10、27の提出につきましては、27日、
1:13:48	はい。次に
1:13:52	対応方針の中身に入ります。
1:13:55	安全率とかですね系統保有量とか、そういったところで安全率を設けているといったところの説明でございますけれども、
1:14:04	安全率という言葉で逃げずにですね、そもそもその評価のパラメータ、その不確かさといったところを明確にして、
1:14:16	どこにどう御説明を持たせていくかという、その評価と紐付けた整理をすることといったご指摘をいただきましたので、その対応して参ります。
1:14:29	はいあとは、40というところでし、
1:14:35	屋外水源として考慮する、
1:14:39	水源のところの自然災害と、人事象のところでございますが、

1:14:44	ここにつきましては今日の議論を踏まえて添付資料なりが、補足説明資料なりにしっかり確認、記載をして参ります。
1:14:56	その中で検討の欄がですね、ちゃんとした検討になってないということで、
1:15:02	考慮はちゃんとしているんだけど、溢水に対して影響がないので云々とかですね、喜多が足りてない部分については、
1:15:11	説明を各自拡充させていただきます。
1:15:15	はい後は航空機落下に対する考慮で、地震に対する地震後に法案されますよみたいなところにつきましては、
1:15:24	まず地震としてどういう考慮しているのにそれに含まれるのかといった話をしっかり書かなきゃいけないというのと、
1:15:32	それぞれの損傷モードを考えたときに、
1:15:36	その瞬間値だったですねその溢水の時間的な変化みたいなのも踏まえて包絡されるという、説明が必要だという、
1:15:44	いうことを認識してございます。
1:15:51	はい。続きまして別紙 11 の床勾配の考慮でございますけれども、
1:15:57	そもそもついに高さがどうだっていうところに入る前に、
1:16:05	まず溢水後請求評価としてどのように設定して、基準床面とかに対して設定してるかといったような全体を示した上で、
1:16:16	その中で一つ、
1:16:18	深さのパラメーターとして、床勾配の考慮というのが出てきますので、そういったところを明確にした上で、
1:16:27	その設定が妥当なものかといったような全体像からの整理に修正させていただきます。
1:16:34	その中で、今いろいろ同じですけど、パラメーターといったところで、
1:16:41	プロでですね、見ていた補修してみたいところを、
1:16:45	元のそれぞれのパラメータの江藤、どこで九州で整理できるのかというところがないと、ぎりぎりの評価になってしまうといったご指摘ももらってました。
1:16:58	はい。あと、最後ページ中に屋外の局所評価のところでございますけれど、まず、局長評価の対象としている。
1:17:09	今回ランクを選定してございますけど、

1:17:12	そもそもそれが何で選定されたのかといったところの説明が図表だけでは足りないということなのでそこをしっかりと書き下します。
1:17:21	はい。あとはその屋外タンクの破損モードに対する想定ですね。
1:17:28	はい。続いて就労云々のところで議論させていただきましたけども、ところも少し整理してします。
1:17:38	はい。あとは別紙 12 ではないんですけども、そもそも 1 水源の想定で、
1:17:43	安全冷却水冷却塔みたいなですね、
1:17:48	耐震性持ってるところを実現の想定に含めるかどうかといったところの整理ですね。
1:17:53	それにつきましては、ナンバー28-1 といったところで、検討項目になってございますので、
1:18:00	そちら、
1:18:03	2-2 のちょっと議論に入る前に、対応方針というところはこのプロジェクト対応リストの中で、しっかり確定させていきたいと思っております。
1:18:11	はい。振り返り井戸です。
1:18:16	はい、規制庁趣味です。東井。
1:18:20	一部その再スケジュール管理。
1:18:23	いかがでしょうかもそれも含めて、次コメントリストを提出されるときに、その各、今回、今回確認したものについていつ示すっていうのを、
1:18:34	入れられるってということでしょうか。
1:18:36	はい。日本原燃篠崎でございます。全体朝ヒアリングでご説明差し上げてます全体スケジュールにこれ乗っかりますように、
1:18:47	適宜、設計方針として固めないまま固めなければいけないものにつきましては、回答差し上げようと思っております。本日もちょっと数件ではあるんですけども、
1:18:59	資料提出させていただきますが、また来週もですね、
1:19:03	当資料提出させてもらう予定でございますので、そういったところにマニュアルも間に合うものにつきましては、当然それに出てきますし、
1:19:14	できたものからとは言わないですけども、優先度をちゃんとつけますが、
1:19:20	早く

1:19:23	速やかに
1:19:25	回答方針決めた上で資料提出ヒアリングという形を設定させていただきたいと思います。
1:19:32	はい。
1:19:33	古作です。なんか大分言いにくそうにと言われてたんですけど、何でかなあとちょっと今思ってたんですけども。
1:19:44	あれですかね、余りにも細かくバラバラと出しても迷惑だろうと。
1:19:49	いうことだけどうだけどうまとめてとって遅くなってもいけないよなんてそんな感じですか。
1:19:58	日本原燃篠崎でございます。すみませんそのようなご配慮いただきます。そんな格好いいものではなくて、
1:20:07	すぐに、
1:20:08	もちろんすぐに対応は開始するんですけども、今までの経験から言うと、全体的に見直すようなものはそれなりに時間もかかりますので、
1:20:18	はいできたところからでも、説明会に出させていただきたいと思っています。
1:20:24	古作です。それで言うとはですね、かかるものはかかる一ものとして、こういうことがあってこれぐらいの時間がかかると。
1:20:34	ということでコメントリストに書いて認識共有するということだと思いますし、1週間程度の整理ということであれば、
1:20:45	そこら辺は整理して出せばいいんじゃないのということですから、そのあたりはまとめて出していくと。
1:20:53	いう、軽重に応じてってということだと思います。
1:21:00	それもですね、作業方針として、これはこんな感じだよこれはこんな感じだよっていうの。
1:21:08	見渡してみても全体としては、トラック何使用意して、この日にはこれを載せようこれのBUにこれを載せよう。
1:21:21	後発になるようなものは、そのまま後発ですっていうのでいいのかなとか。
1:21:26	一旦こういう便に載せるけど最低限こういうところは説明しますっていう、何を何回かに分けて対応した方がいいんじゃないかと。

1:21:36	というようなことを考えたりするので今回のコメントリストでも対応スケジュールに先ほど田尻も言ってましたけど、二段階にして、2-2、最終的には2-2だけど、
1:21:47	その手前にワンタッチありますよねということを整理したりっていうのがあったので、そういうことをまず整理をして、方針こうしますと。
1:21:56	というのが大事であってそれ整理すれば多分先ほどの説明ってそんなにどぎまぎしなくてもいえると思うんですよ。
1:22:04	なので、早くそのそういう意識を持っていただきたいなと思います。以上です。
1:22:11	はい。江藤。日本原燃塩崎です。承知しました。ちょうどそういう意味ではこのコメントに対する対応方針っていいツールだと思ってございますので、そういったところを、最新の情報として、この対応方針というところに、書き加えて
1:22:27	はい。進めて参りたい計画的に進めて参りたいと思います。ありがとうございます。
1:22:34	はい。
1:22:34	清長市民です。
1:22:37	それではもう一つちょっと資料、細かい確認はしないんですけど3月15日に提出されたコメントリストのちょっと別紙に関して確認。
1:22:47	たいと思います。
1:22:50	その前にちょっと細かい話なんですけど今回コメントリスト何回か出されている時に別紙をその時出すものだけしかつけられないんですけども、基本的には
1:23:02	これまでの分全部つけて積み上げていく形に、ちょっと資料をご提示していただければと思いますお願いします。
1:23:10	そう。
1:23:11	3月15日に提出のあった資料に関して、まず原燃側から説明あればお願いします。
1:23:20	はい。日本原燃の戸崎でございます。こちらの位置付けでございますけれども、まだ溢水、補足説明資料で悩まれていなくて全体像を示していないという中で、

1:23:32	どういった図表額を持ってきてどこに何が書かれるのかといったところをですねお聞きできていないためにいろいろ質問いただいているところもあるかと思っています。
1:23:43	そういう意味で
1:23:44	申請書、或いはそれに対してどういう表、どういう目的でつけるのかといったような展開を示すという目的で行ったものでございます。
1:23:53	すいません、口頭で補足させてください。現状ですね。
1:23:59	この整理して、提出はさせていただいたんですが、この目的欄がですね、
1:24:05	この図は、図表はこういうものですよという説明にしか、正直なっていないくて、目的より内容改正だけのものになってございます。
1:24:14	本来こういう評価をやられるために、こういう情報が必要で、ここでインプット、
1:24:21	説明等整理する必要があるので、そういった、こういう情報を含む表で示しますよと。
1:24:27	言ったようなものが目的だと思いますので、この目的といったところは、
1:24:34	拡充した上で再提出させていただきたいと考えてるところでした。
1:24:39	あと、この整理をしていく中で現状、準備している図表で足りていないものがあるというふうに認識してございます。
1:24:46	1 水源除外の機器配管の対象でございます。
1:24:53	今はですね評価結果すみません、失礼しました 1 水源の想定の中で、
1:24:59	発音想定なしとか、
1:25:02	そういった表現で、ここは 1 元から除外してるんだというのは間接的に見えるんですが、
1:25:09	ものがどれかという、
1:25:11	同定に至るような情報ってのが、
1:25:14	現状ございません。今耐震側にですね、引き渡す。
1:25:19	情報としては今の表では、不足していると思うのは認識してございますので、そういったものは今後、
1:25:26	どっかにつけていかなければいけないということで今検討しているところでございます。

1:25:30	ただ配管をですねどのように示すのかっていうところをちょっと悩んでるところもございまして、その辺はちょっと早めに規制庁のにご相談示し方についてご相談させていただきたいなというふうに考えてるところでございました。
1:25:43	あと
1:25:44	これまでのヒアリングで何度かのヒアリングで、例えば被水評価の結果を示す表のところの、
1:25:54	注記だとかですね、そもそも別の表記とかそういったところで、
1:26:00	わかりにくいので、ちゃんと改善してねといったご指摘もいただけてます。
1:26:05	そういったものはすいませんこちらの方に反映できてございませんが、
1:26:09	コメント対応方針の
1:26:13	整理とともに、こちらの資料の方も併せて修正して参りたいと思っております。
1:26:20	はい。そういう意味でちょっとまだいろいろ直さなきゃいけないところがあると認識も、会長申し上げました目的に、趣旨に照らしまして、
1:26:30	全体像というのをお示しをしますので、意義があるかなと思ひまして、今回こんな形で、
1:26:37	この後の修正ありきでございますけれども、提示させていただいたものでございます。説明以上です。
1:26:44	清長市民です。
1:26:46	ちょっと全体像は混合出す資料の所、情報の全体像を示すものっていうことでちょっと先ほどおっしゃったように目的と、
1:26:58	何を示そうとしてるかっての目的がちょっと不十分なので、今後出てくるその図とか表の、
1:27:04	一部を抜粋しな載せただけみたいな形になってしまってるので、そこはちょっと目的をちゃんと整備して記載いただければと思うんですが。
1:27:15	とりあえずちょっと現状で気になった点で、確認したいんですけども。
1:27:22	例えば資料の、
1:27:24	右下 11 ページで、
1:27:26	一声、
1:27:28	等、
1:27:30	一斉 07 の補足説明資料ですかね、今後

1:27:40	一斉 07 のその日、第 3-2 表と第 4-1 表で地震に起因する溢水で没水の影響評価結果っていうのは、施行示しますってことで、
1:27:51	ここ様。
1:27:52	D、3-2 病棟 4-1 表で DB と S A っていうことでその評価結果それぞれ分けてると思うんですけども、
1:28:01	お母様没水、
1:28:05	何ですかね、例えば溢水 05 で想定破損による没水影響評価結果はこれは何か溢水、DB と S A 両方まとめて、
1:28:14	表で示すのかなとも思えて、細かい評価結果の示し方デリート S メッセージ分けるものと分けられないものとかの、何か整理とかが、今、
1:28:24	わかれば説明いただきたいんですけども。
1:28:29	ちょっと S A の関係はまだ整理中ということであれば、また整理していこうと思います。
1:28:40	古作です。多分、まだそこまでの流域にきてないっていう言葉、今日の最初の話だったんだろうなと思いますけど、
1:28:51	今清水が言ったように、この領域まで DB は S E は土岐北井。
1:28:56	ていう、どちらかという、最初にそこを見れるもんだと思って、補足説明資料待ってたら全然だったっていうのが
1:29:04	こちらの思いだと思うんですけど、そこまで思ってますのでそういう議論ができるように、整理をする。
1:29:13	進めていただいて最終的に資料提示まで、進めていただければと思います。ちょっとこの表を見るとですね気になったのは、添付補足って縦に並べてんですけど、
1:29:25	添付と補足って本来横に並べて、添付ではここまで書きます補足でここまで書きますってなってもおかしくないような気がするんですけど。
1:29:34	その関係性って整理できてます。
1:29:39	はい。日本原燃資料だけでございます。ちょっとこの様式を作るにあたって、あなたがおっしゃるところでいろいろ悩むところであったんですけども、おっしゃる通り添付があって添付のどこどこを、具体的に補足するものが補足説明資料ですという形で、
1:29:55	作り込んでいますので、

1:29:58	ほら横に並べて添付があって添付の何を不足するのが補足説明資料だという構成になってございますので、ちょっとそういう示しの方が正しいと思います。はい。
1:30:08	はい。補足です。そうしないと多分目的っていうところがですね、またぐちゃぐちゃになっていくんだらうなと思うので、
1:30:20	説明する項目に対して目的があり、その中で必要な図表がこう並んでいくって感じだと本来はあると思いますから整理を進めてください。よろしくをお願いします。
1:30:36	はい。
1:30:37	日本レーションだけ承知しました。
1:30:40	長シミズです。
1:30:43	あんまり、
1:30:45	高い話をしても、
1:30:47	けども、
1:30:49	あと1点気になって、
1:30:52	たことで、
1:30:53	どうですか、この資料全体で一つだけちょっと確認したいんですけども。
1:31:00	19 ページ 2、す、想定破損により生じる段階ごとの溢水の評価結果っていうのを今後の示し方として、
1:31:09	出されてたんですがちょっとこれだけ見るとよくわからなかったのに、実用炉の方とかを見て、何となくイメージをいたんですけども、
1:31:18	その右上に出てる、その下、カーブってこれな、何なんですかね。
1:31:26	何かこれまで聞いたこと。
1:31:28	株、P O、これまでなんか出てこなかったの、
1:31:34	2 年のアカマツです。カーブは
1:31:38	裏の下にある床段差、間瀬君、見た三輪関みたいなものですけども、
1:31:44	それをカーブと言っています添付書類上位監査という職員にしております。
1:31:52	はい、成長趣味です。色の下の床段差、
1:31:56	そうですね。それはあれですかね溢水経路。段階的なこいつできるっていうのを設定していく中で、床段差が何センチ目何センチだから、
1:32:08	流入するのは長く、

1:32:10	以上のその分ですとかそういうのに使う。
1:32:14	ていうイメージですかね。
1:32:19	はい。日本原燃の赤松です。はい、ご認識の通りで、このカーブの高さ分は残ってそれを越えた分の水量が次の企画に伝播するという、
1:32:29	考えてございます。以上です。
1:32:31	一応趣味です。
1:32:33	ちょっとできればあの言葉は合わせて、扉の下の床段差、
1:32:39	ちょっとわかるように、
1:32:41	今後ちょっと、
1:32:43	言葉は使っていただければと思います。
1:32:46	で、
1:32:50	金額箇所と同じページなんですけども、
1:32:55	と。
1:32:55	左下も、
1:32:57	ズー図というか表みたいなものに、溢水水位算出に係る特記事項っていうところが、多分項目としてこう書かれるところをバーになってるんですけども、
1:33:09	実用炉の方を見ると、おいしい水の算出方法について、単に書かれてるその溢水量を、その面積、
1:33:19	で割っただけの、で算出してる場合であっても、
1:33:23	最初に関する事として、ここでそれぞれ毎回説明は入れられてたんですけど現状においては、特記事項っていうことで基本的にただ、
1:33:33	その上に書いてある量を面積で割っただけの場合は、ここで説明入れずに全部バーにしてるっていう、そういう説明をする。
1:33:42	になるんでしょうか。
1:33:47	はい。日本原燃の赤間です。はい、ご認識の通りで、ただ終わりになるところは別に、
1:33:53	特別にペイする事項があった場合は、記載するという、
1:33:57	位置付けで、
1:33:59	共用しておりました。以上です。
1:34:02	成長シミズですちょっとその特別、特別じゃないっていうのが、今一番段階にその区画ごとにどうやって算出してるのかっていうのは基本的にはちょっと入れていただければと思うんですが。

1:34:18	いかがですかね。
1:34:21	はい。
1:34:22	はい。日本原燃の赤松です。はい承知いたしました計算方法がわかるように記載したいと思います。以上です。
1:34:30	はい。よろしくお願いします。ちょっと細かい話なので、今後、必要な情報として入れるよう整理していただければと思います。
1:34:39	あとコサクです。ちょっと今のところ
1:34:42	また脱線しちゃって申し訳ないんですけど、何でこっだけマスクングになってんですか。
1:34:54	しゃべれないんじゃないですかしゃべっちゃいましたけど。
1:34:58	はい。日本原燃篠崎です。すいません。
1:35:02	マスクング他のチェックして私のチェックはして申し訳ない。
1:35:06	おっしゃる通り、これ少なくとも表の、
1:35:09	何を言わんとしてる評価というのは、お示し、
1:35:14	廃止しなきゃいけない情報としますので、
1:35:16	丸々資格というのはやり過ぎだと思います。
1:35:19	大変失礼いたしました。
1:35:20	はい。補足です。基本的にこういうのは、個別の分、情報が入ってる領域だけ。
1:35:26	がマスクング対象のはずです。特記事項のところも、特記事項と書いてある、要は開示物で、その下の具体を書くところだけマスクングと。
1:35:37	いうことに数すべきというかしないとおかしいので、今後しっかりとやってください。
1:35:45	こんな話はもう2年間ぐらい話してると思うんで、いい加減、ちゃんとしていただきたいと。
1:35:54	はい。日本原燃篠崎です。全くおっしゃる通りです。大変申し訳ございません。
1:36:02	規制庁清水ですがこちらの資料に関して現時点で規制庁側から確認したいことございますでしょうか。
1:36:12	清長市民です。こちらの資料は
1:36:15	全体像を示すっていう今後出す情報についてっていう目的であればそれに沿った資料となるように本日のコメントを踏まえて対応していただければと思います。

1:36:28	あと全体をどうしようか規制庁側から何か確認ございますでしょうか。
1:36:35	藤原燃側はよろしいでしょうか。
1:36:42	はい。日本原燃篠崎です。はい。
1:36:46	特に追加でお話しすることございません。
1:36:50	はい。成長済みです。それではこれで本日のヒアリングを終了したいと思います。登録を停止します。